

(1) 町会・自治会の負担軽減に関するアンケート結果によりわかったこと（分析結果）

【活動内容】

（意義について）

- ・意義を感じている方が多いのは、主に防災など、**地域の安全安心**に資する活動。

※市からの依頼業務では、**町会回覧**については意義を感じている方が比較的多い。

回答が多かったもの：防災、防犯、交通安全、美化活動、資源回収、高齢者福祉、地域福祉、町会回覧、公共工事地域同意依頼

- ・意義を感じない方が多いのは、**ポスター掲出及びイベント**に関すること。

回答が多かったもの：**ポスター掲出、市のイベントへの参加、イベントの実行委員**の就任。

（負担感について）

- ・**イベント**に関する内容について、**負担**に感じている方が多い。

回答が多かったもの：**市のイベントへの参加、イベントの実行委員**。

- ・意義を感じている**地域の安全安心**に資する活動についても、**負担**に感じている方は多い。

回答が多かったもの：防災、防犯、町会回覧、高齢者福祉、地域福祉

- ・そのほか、**各種会議の委員**や**アンケート取りまとめ**についても**負担**を感じている方が多い。

- ・比較的**負担感が少ない**のは、**資源回収、環境美化、交通安全、ポスター掲出、公共工事地域同意依頼**。

【町会の負担感が増している原因】（複数回答可）

1位 **役員及び会員の高齢化**（266）

2位 **会員の町会活動への無関心**（178）

3位 **市や関係団体から依頼される業務の増加**（145）

【市から依頼されている業務が削減された場合の影響】

- ・市から依頼されている業務が削減された場合、町会が本来実施したかった事業等ができるか、という問いに対し、
「できる」35%、「変わらない」65%。

⇒市から依頼される業務は負担に感じているものの、

それが**町会の本来業務を妨げている**主要因とは考えていない方が多い。

【町会が本来担うべき役割について】（複数回答可）

- 1位 「防犯・防災・交通安全等、地域の安心・安全のための活動」（229）
- 2位 「地域の課題を行政に伝え、対応を要望する」（199）
- 3位 「環境美化」（161）
- 4位 「福祉」（159）
- 5位 「町会員の親睦を図る行事の運営」（158）

・町会長の方は、町会が多く役割を担うべきとの思いが強いことがうかがえる。

【今後町会が持続していくために必要なこと】

・今後町会が持続していくためには、

「活動内容を変更する（効果の薄い活動をやめたり別の内容に変更する）」という回答が多い（209）。

※そのほかの回答

- ・デジタル化推進（102）
- ・活動資金（121）
- ・活動拠点（集会施設や打合せスペース等）（53）
- ・様々な主体（老若男女国籍等問わず）の参加（95）
- ・その他（75）

【アンケートに回答した町会長（318名）の属性】 ※回答率 62%（318町会/514町会）

- ①男性が 95%
- ②60代以上が 85%、70代以上が 41%
- ③就任2年目以下が 77%
- ④お勤めの方は約 46%（会社員・公務員が約 38%、自営業が約 8%）、無職は約 42%。

(2) アンケート結果を踏まえ検討する内容

① 市として考えられる対応

- ・ **意義を感じているものの負担にも感じている事業**について、負担軽減のため市としてできることを検討し、順次対応していく。
回答が多かったもの：防災、防犯、町会回覧、高齢者福祉、地域福祉
- ・ **意義を感じられていない市の事業への協力**については、各課で必要性について改めて精査する。
例：ポスターの削減、市のイベントへの出席・イベントの実行委員就任の必要性について改めて検討する
- ・ ポスターについては「サイズの制限を設ける」「掲出期間を明示する」等、町会に負担の少ない方法を検討し、対応する。
- ・ 各課で行う**アンケート**については、実施目的を丁寧に伝えることや、取りまとめ結果の報告に務める。
※実施主体が「市」「連合会・地区会」「その他の団体」等考えられるため、各課から関係する他団体にも同内容を伝えるように依頼する。
- ・ **町会の担うべき役割**について、「**地域の課題を行政に伝える、個人と行政との橋渡し役**」と捉えている方も多いため
町会の要望は地域の意見の総意であるという認識を持ち、寄り添った対応とするよう今一度庁内に周知を図る。
- ・ **3年以上継続される町会長は2割程度**であり、**町会長は手続き等に不慣れ**である、**予備知識は少ない**、という前提で様々な対応を行う。
- ・ **町会長の半数は現役**でお勤めされているため、その状況に併せた対応をする必要がある。
例：電子申請で24時間受付できる体制にする、会議の日程を土日や夜間に変更する等



ガイドラインを策定し、庁内で統一的に運用する。

② 市から他団体（市原市社会福祉協議会等）に対して依頼する対応

- ・ **3年以上継続される町会長は2割程度**であり、**町会長は手続き等に不慣れ**である、**予備知識は少ない**、という前提で対応をお願いしたい。
- ・ **現役世代の町会長の負担軽減や参加促進**のため、会議の回数・実施曜日・時間帯の検討、書類をメール提出可とする等、柔軟な対応をお願いしたい。
また、**会議の委員**に就任を依頼しているものについて、就任の必要性を新しい町会長には改めて伝えていただきたい。
- ・ **アンケート**を実施する場合、「目的」をしっかり伝えることと、「結果」のフィードバックをお願いしたい。
- ・ **イベント**等を開催する場合、町会長出席の必要性を丁寧に伝えてほしい。
- ・ **ポスターの掲出**については、他に効果的な周知方法がないか検討していただいたり、サイズを大きくしすぎないこと、掲出期間を明示して配付すること等、配慮をお願いしたい。

③ 各町会に御検討いただきたい内容

- ・ **持続可能な町会活動のため、活動内容の精査が必要**と考えている方は多い。

例えば、町会の行事等について、現在の町会員の状況（年齢構成、仕事や家庭の状況等）から、今まで通りの規模や運営方法で継続可能か、検討することも必要かと思われる。

- ・ **定年が延長**されている状況もあり、**仕事と町会活動を両立**するための方法について改めて検討することも必要。

例：町会の役員会議の回数・実施曜日・時間帯の検討、書類をメールで共有する等

- ・ 市ウェブサイトの**地域コミュニティサービス**について、まだ導入していない町会・自治会には、ぜひご利用を検討いただきたい。

町会長が発信者としてご登録いただくことにより、町会員向け通知や、全市民向けの町会情報の発信が可能。

問1・2 活動内容別 意義と負担を感じている方の割合

質問項目	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	253	79.3%	60	18.8%	206	64.6%	99	31.0%
防犯	231	72.4%	81	25.4%	174	54.5%	130	40.8%
交通安全	197	61.8%	113	35.4%	137	42.9%	160	50.2%
美化活動	215	67.4%	97	30.4%	150	47.0%	158	49.5%
資源回収	221	69.3%	86	27.0%	126	39.5%	168	52.7%
高齢者福祉	205	64.3%	96	30.1%	173	54.2%	116	36.4%
地域福祉	176	55.2%	120	37.6%	164	51.4%	117	36.7%
町会回覧	206	64.6%	105	32.9%	200	62.7%	109	34.2%
ポスター掲出	127	39.8%	175	54.9%	147	46.1%	153	48.0%
各種会議の委員	131	41.1%	158	49.5%	219	68.7%	74	23.2%
アンケートとりまとめ	137	42.9%	156	48.9%	183	57.4%	110	34.5%
公共工事地域同意依頼	170	53.3%	114	35.7%	154	48.3%	127	39.8%
市のイベントへの参加	136	42.6%	163	51.1%	214	67.1%	76	23.8%
イベントの実行委員	109	34.2%	175	54.9%	215	67.4%	67	21.0%

※「わからない」回答分を含まないため割合の和が100%にならない

問1・2 活動内容別 意義と負担を感じている方の割合（地域毎）

1. 姉崎

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	19	90.5%	0	0.0%	18	85.7%	2	9.5%
防犯	16	76.2%	3	14.3%	15	71.4%	4	19.0%
交通安全	16	76.2%	1	4.8%	10	47.6%	11	52.4%
美化活動	15	71.4%	4	19.0%	11	52.4%	10	47.6%
資源回収	17	81.0%	1	4.8%	7	33.3%	13	61.9%
高齢者福祉	15	71.4%	4	19.0%	13	61.9%	7	33.3%
地域福祉	15	71.4%	4	19.0%	12	57.1%	8	38.1%
町会回覧	15	71.4%	3	14.3%	14	66.7%	6	28.6%
ポスター掲出	8	38.1%	9	42.9%	10	47.6%	10	47.6%
各種会議の委員	10	47.6%	7	33.3%	14	66.7%	5	23.8%
アンケートとりまとめ	10	47.6%	7	33.3%	9	42.9%	10	47.6%
公共工事地域同意依頼	7	33.3%	9	42.9%	11	52.4%	8	38.1%
市のイベントへの参加	11	52.4%	6	28.6%	13	61.9%	6	28.6%
イベントの実行委員	8	38.1%	8	38.1%	14	66.7%	5	23.8%

2. 市原

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	33	75.0%	11	25.0%	26	59.1%	15	34.1%
防犯	28	63.6%	15	34.1%	21	47.7%	20	45.5%
交通安全	28	63.6%	15	34.1%	14	31.8%	25	56.8%
美化活動	27	61.4%	16	36.4%	19	43.2%	22	50.0%
資源回収	32	72.7%	11	25.0%	14	31.8%	25	56.8%
高齢者福祉	26	59.1%	16	36.4%	23	52.3%	15	34.1%
地域福祉	22	50.0%	18	40.9%	21	47.7%	15	34.1%
町会回覧	31	70.5%	13	29.5%	21	47.7%	19	43.2%
ポスター掲出	20	45.5%	22	50.0%	20	45.5%	19	43.2%
各種会議の委員	16	36.4%	22	50.0%	28	63.6%	9	20.5%
アンケートとりまとめ	18	40.9%	18	40.9%	21	47.7%	16	36.4%
公共工事地域同意依頼	20	45.5%	15	34.1%	15	34.1%	19	43.2%
市のイベントへの参加	16	36.4%	24	54.5%	22	50.0%	15	34.1%
イベントの実行委員	8	18.2%	28	63.6%	25	56.8%	11	25.0%

3.五井

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	33	78.6%	9	21.4%	27	64.3%	14	33.3%
防犯	32	76.2%	10	23.8%	25	59.5%	17	40.5%
交通安全	28	66.7%	14	33.3%	22	52.4%	20	47.6%
美化活動	32	76.2%	10	23.8%	24	57.1%	18	42.9%
資源回収	30	71.4%	11	26.2%	16	38.1%	24	57.1%
高齢者福祉	30	71.4%	10	23.8%	24	57.1%	16	38.1%
地域福祉	26	61.9%	12	28.6%	23	54.8%	14	33.3%
町会回覧	28	66.7%	13	31.0%	20	47.6%	22	52.4%
ポスター掲出	19	45.2%	20	47.6%	17	40.5%	23	54.8%
各種会議の委員	28	40.5%	21	50.0%	27	64.3%	13	31.0%
アンケートとりまとめ	21	50.0%	17	40.5%	27	64.3%	14	33.3%
公共工事地域同意依頼	25	59.5%	15	35.7%	18	42.9%	21	50.0%
市のイベントへの参加	19	45.2%	21	50.0%	21	50.0%	18	42.9%
イベントの実行委員	13	31.0%	24	57.1%	26	61.9%	13	31.0%

4.三和

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	26	83.9%	5	16.1%	20	64.5%	9	29.0%
防犯	23	74.2%	8	25.8%	18	58.1%	11	35.5%
交通安全	20	64.5%	11	35.5%	17	54.8%	12	38.7%
美化活動	21	67.7%	10	32.3%	16	51.6%	13	41.9%
資源回収	18	58.1%	13	41.9%	9	29.0%	18	58.1%
高齢者福祉	19	61.3%	11	35.5%	19	61.3%	9	29.0%
地域福祉	16	51.6%	14	45.2%	17	54.8%	11	35.5%
町会回覧	16	51.6%	15	48.4%	21	67.7%	8	25.8%
ポスター掲出	8	25.8%	23	74.2%	19	61.3%	10	32.3%
各種会議の委員	13	41.9%	18	58.1%	21	67.7%	8	25.8%
アンケートとりまとめ	12	38.7%	18	58.1%	19	61.3%	9	29.0%
公共工事地域同意依頼	19	61.3%	11	35.5%	18	58.1%	10	32.3%
市のイベントへの参加	11	35.5%	20	64.5%	23	74.2%	5	16.1%
イベントの実行委員	8	25.8%	23	74.2%	20	64.5%	8	25.8%

5.市津

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	21	87.5%	3	12.5%	16	66.7%	7	29.2%
防犯	21	87.5%	3	12.5%	14	58.3%	8	33.3%
交通安全	17	70.8%	6	25.0%	11	45.8%	11	45.8%
美化活動	16	66.7%	7	29.2%	8	33.3%	13	54.2%
資源回収	16	66.7%	6	25.0%	11	45.8%	9	37.5%
高齢者福祉	17	70.8%	5	20.8%	14	58.3%	5	20.8%
地域福祉	12	50.0%	10	41.7%	15	62.5%	4	16.7%
町会回覧	14	58.3%	9	37.5%	17	70.8%	6	25.0%
ポスター掲出	7	29.2%	16	66.7%	10	41.7%	12	50.0%
各種会議の委員	8	33.3%	16	66.7%	21	87.5%	1	4.2%
アンケートとりまとめ	8	33.3%	14	58.3%	17	70.8%	5	20.8%
公共工事地域同意依頼	10	41.7%	12	50.0%	12	50.0%	8	33.3%
市のイベントへの参加	11	45.8%	13	54.2%	21	87.5%	2	8.3%
イベントの実行委員	12	50.0%	12	50.0%	23	95.8%	0	0.0%

6.辰巳台

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	12	57.1%	6	28.6%	10	47.6%	10	47.6%
防犯	11	52.4%	7	33.3%	10	47.6%	9	42.9%
交通安全	4	19.0%	16	76.2%	4	19.0%	12	57.1%
美化活動	12	57.1%	8	38.1%	6	28.6%	14	66.7%
資源回収	12	57.1%	8	38.1%	5	23.8%	12	57.1%
高齢者福祉	9	42.9%	10	47.6%	5	23.8%	12	57.1%
地域福祉	9	42.9%	9	42.9%	4	19.0%	13	61.9%
町会回覧	14	66.7%	5	23.8%	6	28.6%	14	66.7%
ポスター掲出	7	33.3%	12	57.1%	4	19.0%	14	66.7%
各種会議の委員	8	38.1%	7	33.3%	11	52.4%	7	33.3%
アンケートとりまとめ	10	47.6%	9	42.9%	6	28.6%	11	52.4%
公共工事地域同意依頼	10	47.6%	9	42.9%	6	28.6%	12	57.1%
市のイベントへの参加	11	52.4%	7	33.3%	10	47.6%	6	28.6%
イベントの実行委員	8	38.1%	7	33.3%	9	42.9%	7	33.3%

7.南総

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	47	77.0%	13	21.3%	40	65.6%	17	27.9%
防犯	43	70.5%	17	27.9%	37	60.7%	21	34.4%
交通安全	37	60.7%	22	36.1%	28	45.9%	28	45.9%
美化活動	42	68.9%	19	31.1%	31	50.8%	29	47.5%
資源回収	45	73.8%	14	23.0%	27	44.3%	30	49.2%
高齢者福祉	40	65.6%	15	24.6%	33	54.1%	20	32.8%
地域福祉	35	57.4%	20	32.8%	32	52.5%	20	32.8%
町会回覧	37	60.7%	24	39.3%	42	68.9%	18	29.5%
ポスター掲出	23	37.7%	38	62.3%	28	45.9%	32	52.5%
各種会議の委員	24	39.3%	31	50.8%	41	67.2%	14	23.0%
アンケートとりまとめ	21	34.4%	38	62.3%	37	60.7%	19	31.1%
公共工事地域同意依頼	40	65.6%	12	19.7%	36	59.0%	18	29.5%
市のイベントへの参加	23	37.7%	35	57.4%	46	75.4%	11	18.0%
イベントの実行委員	22	36.1%	33	54.1%	42	68.9%	11	18.0%

8.加茂

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	15	78.9%	4	21.1%	9	47.4%	10	52.6%
防犯	14	73.7%	5	26.3%	6	31.6%	13	68.4%
交通安全	12	63.2%	7	36.8%	5	26.3%	14	73.7%
美化活動	11	57.9%	8	42.1%	6	31.6%	13	68.4%
資源回収	14	73.7%	5	26.3%	9	47.4%	10	52.6%
高齢者福祉	12	63.2%	7	36.8%	10	52.6%	9	47.4%
地域福祉	11	57.9%	8	42.1%	7	36.8%	11	57.9%
町会回覧	11	57.9%	8	42.1%	12	63.2%	7	36.8%
ポスター掲出	8	42.1%	9	47.4%	7	36.8%	12	63.2%
各種会議の委員	8	42.1%	11	57.9%	14	73.7%	5	26.3%
アンケートとりまとめ	7	36.8%	12	63.2%	7	36.8%	12	63.2%
公共工事地域同意依頼	9	47.4%	10	52.6%	8	42.1%	11	57.9%
市のイベントへの参加	7	36.8%	11	57.9%	14	73.7%	5	26.3%
イベントの実行委員	6	31.6%	12	63.2%	15	78.9%	3	15.8%

9.有秋

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	14	87.5%	2	12.5%	11	68.8%	4	25.0%
防犯	13	81.3%	3	18.8%	8	50.0%	7	43.8%
交通安全	9	56.3%	7	43.8%	4	25.0%	11	68.8%
美化活動	13	81.3%	2	12.5%	8	50.0%	8	50.0%
資源回収	11	68.8%	5	31.3%	7	43.8%	9	56.3%
高齢者福祉	13	81.3%	3	18.8%	10	62.5%	6	37.5%
地域福祉	11	68.8%	5	31.3%	11	68.8%	5	31.3%
町会回覧	12	75.0%	4	25.0%	13	81.3%	3	18.8%
ポスター掲出	9	56.3%	6	37.5%	8	50.0%	8	50.0%
各種会議の委員	8	50.0%	8	50.0%	13	81.3%	3	18.8%
アンケートとりまとめ	8	50.0%	7	43.8%	10	62.5%	5	31.3%
公共工事地域同意依頼	8	50.0%	5	31.3%	7	43.8%	6	37.5%
市のイベントへの参加	7	43.8%	8	50.0%	13	81.3%	2	12.5%
イベントの実行委員	5	31.3%	10	62.5%	11	68.8%	3	18.8%

10.ちはら台

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	13	72.2%	5	27.8%	14	77.8%	4	22.2%
防犯	12	66.7%	6	33.3%	14	77.8%	4	22.2%
交通安全	12	66.7%	6	33.3%	12	66.7%	6	33.3%
美化活動	11	61.1%	7	38.9%	12	66.7%	6	33.3%
資源回収	13	72.2%	5	27.8%	13	72.2%	5	27.8%
高齢者福祉	9	50.0%	9	50.0%	9	50.0%	9	50.0%
地域福祉	8	44.4%	10	55.6%	11	61.1%	7	38.9%
町会回覧	12	66.7%	6	33.3%	16	88.9%	2	11.1%
ポスター掲出	8	44.4%	10	55.6%	14	77.8%	4	22.2%
各種会議の委員	12	55.6%	8	44.4%	14	77.8%	4	22.2%
アンケートとりまとめ	10	55.6%	8	44.4%	15	83.3%	3	16.7%
公共工事地域同意依頼	9	50.0%	9	50.0%	12	66.7%	5	27.8%
市のイベントへの参加	9	50.0%	9	50.0%	15	83.3%	3	16.7%
イベントの実行委員	10	55.6%	8	44.4%	14	77.8%	3	16.7%

11.国分寺台

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	14	93.3%	1	6.7%	10	66.7%	5	33.3%
防犯	12	80.0%	3	20.0%	4	26.7%	11	73.3%
交通安全	9	60.0%	6	40.0%	6	40.0%	8	53.3%
美化活動	11	73.3%	3	20.0%	4	26.7%	10	66.7%
資源回収	9	60.0%	5	33.3%	4	26.7%	11	73.3%
高齢者福祉	10	66.7%	5	33.3%	7	46.7%	8	53.3%
地域福祉	8	53.3%	7	46.7%	7	46.7%	7	46.7%
町会回覧	10	66.7%	4	26.7%	12	80.0%	3	20.0%
ポスター掲出	6	40.0%	8	53.3%	8	53.3%	5	33.3%
各種会議の委員	6	40.0%	6	40.0%	11	73.3%	3	20.0%
アンケートとりまとめ	8	53.3%	5	33.3%	10	66.7%	4	26.7%
公共工事地域同意依頼	10	66.7%	4	26.7%	8	53.3%	6	40.0%
市のイベントへの参加	8	53.3%	5	33.3%	10	66.7%	3	20.0%
イベントの実行委員	7	46.7%	5	33.3%	11	73.3%	2	13.3%

12.千種

活動内容	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
防災	6	85.7%	1	14.3%	5	71.4%	2	28.6%
防犯	6	85.7%	1	14.3%	2	28.6%	5	71.4%
交通安全	5	71.4%	2	28.6%	4	57.1%	2	28.6%
美化活動	4	57.1%	3	42.9%	5	71.4%	2	28.6%
資源回収	4	57.1%	2	28.6%	4	57.1%	2	28.6%
高齢者福祉	5	71.4%	1	14.3%	6	85.7%	0	0.0%
地域福祉	3	42.9%	3	42.9%	4	57.1%	2	28.6%
町会回覧	6	85.7%	1	14.3%	6	85.7%	1	14.3%
ポスター掲出	4	57.1%	2	28.6%	2	28.6%	4	57.1%
各種会議の委員	3	42.9%	3	42.9%	4	57.1%	2	28.6%
アンケートとりまとめ	4	57.1%	3	42.9%	5	71.4%	2	28.6%
公共工事地域同意依頼	3	42.9%	3	42.9%	3	42.9%	3	42.9%
市のイベントへの参加	3	42.9%	4	57.1%	6	85.7%	0	0.0%
イベントの実行委員	2	28.6%	5	71.4%	5	71.4%	1	14.3%

問1・2 地域別 意義と負担を感じている方の割合（活動内容毎）

防災

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	19	90.5%	0	0.0%	18	85.7%	2	9.5%
2.市原	33	75.0%	11	25.0%	26	59.1%	15	34.1%
3.五井	33	78.6%	9	21.4%	27	64.3%	14	33.3%
4.三和	26	83.9%	5	16.1%	20	64.5%	9	29.0%
5.市津	21	87.5%	3	12.5%	16	66.7%	7	29.2%
6.辰巳台	12	57.1%	6	28.6%	10	47.6%	10	47.6%
7.南総	47	77.0%	13	21.3%	40	65.6%	17	27.9%
8.加茂	15	78.9%	4	21.1%	9	47.4%	10	52.6%
9.有秋	14	87.5%	2	12.5%	11	68.8%	4	25.0%
10.ちはら台	13	72.2%	5	27.8%	14	77.8%	4	22.2%
11.国分寺台	14	93.3%	1	6.7%	10	66.7%	5	33.3%
12.千種	6	85.7%	1	14.3%	5	71.4%	2	28.6%

防犯

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	16	76.2%	3	14.3%	15	71.4%	4	19.0%
2.市原	28	63.6%	15	34.1%	21	47.7%	20	45.5%
3.五井	32	76.2%	10	23.8%	25	59.5%	17	40.5%
4.三和	23	74.2%	8	25.8%	18	58.1%	11	35.5%
5.市津	21	87.5%	3	12.5%	14	58.3%	8	33.3%
6.辰巳台	11	52.4%	7	33.3%	10	47.6%	9	42.9%
7.南総	43	70.5%	17	27.9%	37	60.7%	21	34.4%
8.加茂	14	73.7%	5	26.3%	6	31.6%	13	68.4%
9.有秋	13	81.3%	3	18.8%	8	50.0%	7	43.8%
10.ちはら台	12	66.7%	6	33.3%	14	77.8%	4	22.2%
11.国分寺台	12	80.0%	3	20.0%	4	26.7%	11	73.3%
12.千種	6	85.7%	1	14.3%	2	28.6%	5	71.4%

交通安全

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	16	76.2%	1	4.8%	10	47.6%	11	52.4%
2.市原	28	63.6%	15	34.1%	14	31.8%	25	56.8%
3.五井	28	66.7%	14	33.3%	22	52.4%	20	47.6%
4.三和	20	64.5%	11	35.5%	17	54.8%	12	38.7%
5.市津	17	70.8%	6	25.0%	11	45.8%	11	45.8%
6.辰巳台	4	19.0%	16	76.2%	4	19.0%	12	57.1%
7.南総	37	60.7%	22	36.1%	28	45.9%	28	45.9%
8.加茂	12	63.2%	7	36.8%	5	26.3%	14	73.7%
9.有秋	9	56.3%	7	43.8%	4	25.0%	11	68.8%
10.ちはら台	12	66.7%	6	33.3%	12	66.7%	6	33.3%
11.国分寺台	9	60.0%	6	40.0%	6	40.0%	8	53.3%
12.千種	5	71.4%	2	28.6%	4	57.1%	2	28.6%

美化活動

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	15	71.4%	4	19.0%	11	52.4%	10	47.6%
2.市原	27	61.4%	16	36.4%	12	66.7%	6	33.3%
3.五井	32	76.2%	10	23.8%	4	26.7%	10	66.7%
4.三和	21	67.7%	10	32.3%	5	71.4%	2	28.6%
5.市津	16	66.7%	7	29.2%	19	43.2%	22	50.0%
6.辰巳台	12	57.1%	8	38.1%	24	57.1%	18	42.9%
7.南総	42	68.9%	19	31.1%	16	51.6%	13	41.9%
8.加茂	11	57.9%	8	42.1%	8	33.3%	13	54.2%
9.有秋	13	81.3%	2	12.5%	6	28.6%	14	66.7%
10.ちはら台	11	61.1%	7	38.9%	31	50.8%	29	47.5%
11.国分寺台	11	73.3%	3	20.0%	6	31.6%	13	68.4%
12.千種	4	57.1%	3	42.9%	8	50.0%	8	50.0%

資源回収

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	17	81.0%	1	4.8%	7	33.3%	13	61.9%
2.市原	32	72.7%	11	25.0%	14	31.8%	25	56.8%
3.五井	30	71.4%	11	26.2%	16	38.1%	24	57.1%
4.三和	18	58.1%	13	41.9%	9	29.0%	18	58.1%
5.市津	16	66.7%	6	25.0%	11	45.8%	9	37.5%
6.辰巳台	12	57.1%	8	38.1%	5	23.8%	12	57.1%
7.南総	45	73.8%	14	23.0%	27	44.3%	30	49.2%
8.加茂	14	73.7%	5	26.3%	9	47.4%	10	52.6%
9.有秋	11	68.8%	5	31.3%	7	43.8%	9	56.3%
10.ちはら台	13	72.2%	5	27.8%	13	72.2%	5	27.8%
11.国分寺台	9	60.0%	5	33.3%	4	26.7%	11	73.3%
12.千種	4	57.1%	2	28.6%	4	57.1%	2	28.6%

高齢者福祉

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	15	71.4%	4	19.0%	13	61.9%	7	33.3%
2.市原	26	59.1%	16	36.4%	9	50.0%	9	50.0%
3.五井	30	71.4%	10	23.8%	7	46.7%	8	53.3%
4.三和	19	61.3%	11	35.5%	6	85.7%	0	0.0%
5.市津	17	70.8%	5	20.8%	23	52.3%	15	34.1%
6.辰巳台	9	42.9%	10	47.6%	24	57.1%	16	38.1%
7.南総	40	65.6%	15	24.6%	19	61.3%	9	29.0%
8.加茂	12	63.2%	7	36.8%	14	58.3%	5	20.8%
9.有秋	13	81.3%	3	18.8%	5	23.8%	12	57.1%
10.ちはら台	9	50.0%	9	50.0%	33	54.1%	20	32.8%
11.国分寺台	10	66.7%	5	33.3%	10	52.6%	9	47.4%
12.千種	5	71.4%	1	14.3%	10	62.5%	6	37.5%

地域福祉

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	15	71.4%	4	19.0%	12	57.1%	8	38.1%
2.市原	22	50.0%	18	40.9%	21	47.7%	15	34.1%
3.五井	26	61.9%	12	28.6%	23	54.8%	14	33.3%
4.三和	16	51.6%	14	45.2%	17	54.8%	11	35.5%
5.市津	12	50.0%	10	41.7%	15	62.5%	4	16.7%
6.辰巳台	9	42.9%	9	42.9%	4	19.0%	13	61.9%
7.南総	35	57.4%	20	32.8%	32	52.5%	20	32.8%
8.加茂	11	57.9%	8	42.1%	7	36.8%	11	57.9%
9.有秋	11	68.8%	5	31.3%	11	68.8%	5	31.3%
10.ちはら台	8	44.4%	10	55.6%	11	61.1%	7	38.9%
11.国分寺台	8	53.3%	7	46.7%	7	46.7%	7	46.7%
12.千種	3	42.9%	3	42.9%	4	57.1%	2	28.6%

町会回覧

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	15	71.4%	3	14.3%	14	66.7%	6	28.6%
2.市原	31	70.5%	13	29.5%	21	47.7%	19	43.2%
3.五井	28	66.7%	13	31.0%	20	47.6%	22	52.4%
4.三和	16	51.6%	15	48.4%	21	67.7%	8	25.8%
5.市津	14	58.3%	9	37.5%	17	70.8%	6	25.0%
6.辰巳台	14	66.7%	5	23.8%	6	28.6%	14	66.7%
7.南総	37	60.7%	24	39.3%	42	68.9%	18	29.5%
8.加茂	11	57.9%	8	42.1%	12	63.2%	7	36.8%
9.有秋	12	75.0%	4	25.0%	13	81.3%	3	18.8%
10.ちはら台	12	66.7%	6	33.3%	16	88.9%	2	11.1%
11.国分寺台	10	66.7%	4	26.7%	12	80.0%	3	20.0%
12.千種	6	85.7%	1	14.3%	6	85.7%	1	14.3%

ポスター掲出

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	8	38.1%	9	42.9%	10	47.6%	10	47.6%
2.市原	20	45.5%	22	50.0%	20	45.5%	19	43.2%
3.五井	19	45.2%	20	47.6%	17	40.5%	23	54.8%
4.三和	8	25.8%	23	74.2%	19	61.3%	10	32.3%
5.市津	7	29.2%	16	66.7%	10	41.7%	12	50.0%
6.辰巳台	7	33.3%	12	57.1%	4	19.0%	14	66.7%
7.南総	23	37.7%	38	62.3%	28	45.9%	32	52.5%
8.加茂	8	42.1%	9	47.4%	7	36.8%	12	63.2%
9.有秋	9	56.3%	6	37.5%	8	50.0%	8	50.0%
10.ちはら台	8	44.4%	10	55.6%	14	77.8%	4	22.2%
11.国分寺台	6	40.0%	8	53.3%	8	53.3%	5	33.3%
12.千種	4	57.1%	2	28.6%	2	28.6%	4	57.1%

各種会議の委員

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	10	47.6%	7	33.3%	14	66.7%	5	23.8%
2.市原	16	36.4%	22	50.0%	28	63.6%	9	20.5%
3.五井	17	40.5%	21	50.0%	27	64.3%	13	31.0%
4.三和	13	41.9%	18	58.1%	21	67.7%	8	25.8%
5.市津	8	33.3%	16	66.7%	21	87.5%	1	4.2%
6.辰巳台	8	38.1%	7	33.3%	11	52.4%	7	33.3%
7.南総	24	39.3%	31	50.8%	41	67.2%	14	23.0%
8.加茂	8	42.1%	11	57.9%	14	73.7%	5	26.3%
9.有秋	8	50.0%	8	50.0%	13	81.3%	3	18.8%
10.ちはら台	10	55.6%	8	44.4%	14	77.8%	4	22.2%
11.国分寺台	6	40.0%	6	40.0%	11	73.3%	3	20.0%
12.千種	3	42.9%	3	42.9%	4	57.1%	2	28.6%

アンケートとりまとめ

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	10	47.6%	7	33.3%	9	42.9%	10	47.6%
2.市原	18	40.9%	18	40.9%	21	47.7%	16	36.4%
3.五井	21	50.0%	17	40.5%	27	64.3%	14	33.3%
4.三和	12	38.7%	18	58.1%	19	61.3%	9	29.0%
5.市津	8	33.3%	14	58.3%	17	70.8%	5	20.8%
6.辰巳台	10	47.6%	9	42.9%	6	28.6%	11	52.4%
7.南総	21	34.4%	38	62.3%	37	60.7%	19	31.1%
8.加茂	7	36.8%	12	63.2%	7	36.8%	12	63.2%
9.有秋	8	50.0%	7	43.8%	10	62.5%	5	31.3%
10.ちはら台	10	55.6%	8	44.4%	15	83.3%	3	16.7%
11.国分寺台	8	53.3%	5	33.3%	10	66.7%	4	26.7%
12.千種	4	57.1%	3	42.9%	5	71.4%	2	28.6%

公共工事地域同意依頼

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	7	33.3%	9	42.9%	11	52.4%	8	38.1%
2.市原	20	45.5%	15	34.1%	15	34.1%	19	43.2%
3.五井	25	59.5%	15	35.7%	18	42.9%	21	50.0%
4.三和	19	61.3%	11	35.5%	18	58.1%	10	32.3%
5.市津	10	41.7%	12	50.0%	12	50.0%	8	33.3%
6.辰巳台	10	47.6%	9	42.9%	6	28.6%	12	57.1%
7.南総	40	65.6%	12	19.7%	36	59.0%	18	29.5%
8.加茂	9	47.4%	10	52.6%	8	42.1%	11	57.9%
9.有秋	8	50.0%	5	31.3%	7	43.8%	6	37.5%
10.ちはら台	9	50.0%	9	50.0%	12	66.7%	5	27.8%
11.国分寺台	10	66.7%	4	26.7%	8	53.3%	6	40.0%
12.千種	3	42.9%	3	42.9%	3	42.9%	3	42.9%

市のイベントへの参加

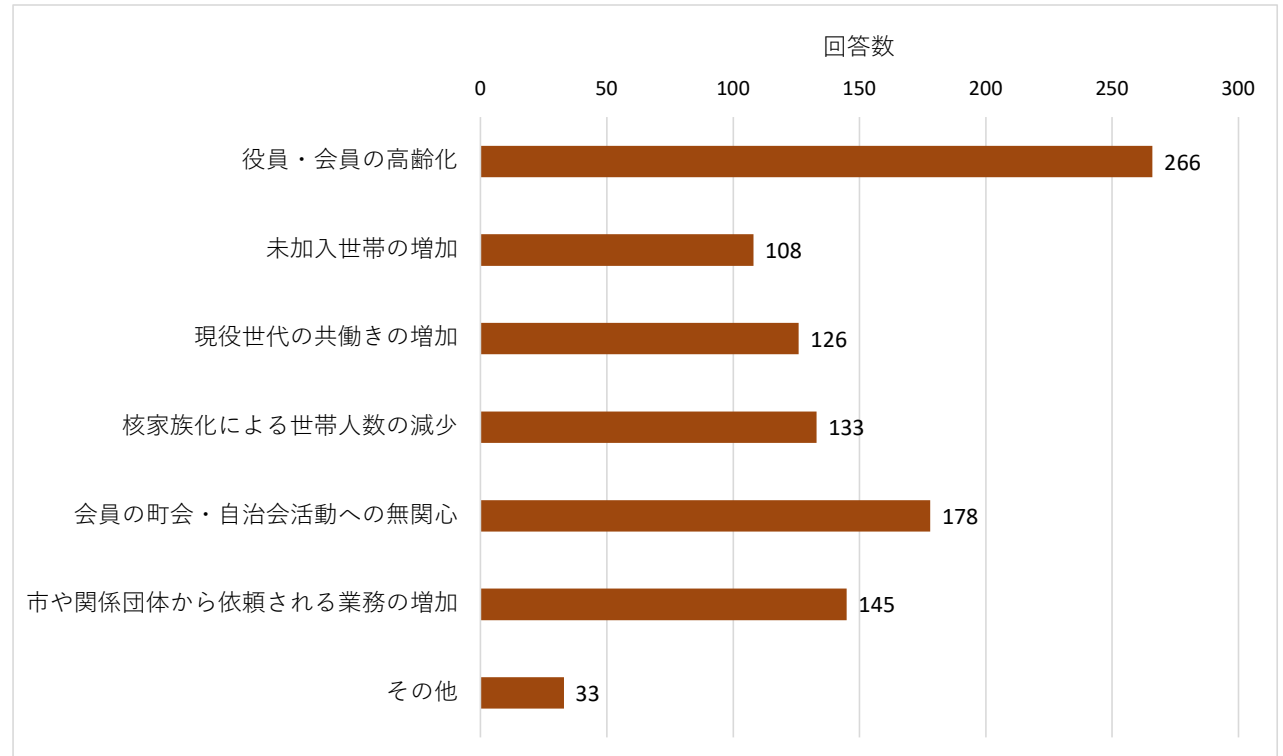
地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	11	52.4%	6	28.6%	13	61.9%	6	28.6%
2.市原	16	36.4%	24	54.5%	22	50.0%	15	34.1%
3.五井	19	45.2%	21	50.0%	21	50.0%	18	42.9%
4.三和	11	35.5%	20	64.5%	23	74.2%	5	16.1%
5.市津	11	45.8%	13	54.2%	21	87.5%	2	8.3%
6.辰巳台	11	52.4%	7	33.3%	10	47.6%	6	28.6%
7.南総	23	37.7%	35	57.4%	46	75.4%	11	18.0%
8.加茂	7	36.8%	11	57.9%	14	73.7%	5	26.3%
9.有秋	7	43.8%	8	50.0%	13	81.3%	2	12.5%
10.ちはら台	9	50.0%	9	50.0%	15	83.3%	3	16.7%
11.国分寺台	8	53.3%	5	33.3%	10	66.7%	3	20.0%
12.千種	3	42.9%	4	57.1%	6	85.7%	0	0.0%

イベントの実行委員

地 域	Q1 意義やメリット				Q2 負担			
	とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない		とても感じる+やや感じる		あまり感じない+ほとんど感じない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1.姉崎	8	38.1%	8	38.1%	14	66.7%	5	23.8%
2.市原	8	18.2%	28	63.6%	25	56.8%	11	25.0%
3.五井	13	31.0%	24	57.1%	26	61.9%	13	31.0%
4.三和	8	25.8%	23	74.2%	20	64.5%	8	25.8%
5.市津	12	50.0%	12	50.0%	23	95.8%	0	0.0%
6.辰巳台	8	38.1%	7	33.3%	9	42.9%	7	33.3%
7.南総	22	36.1%	33	54.1%	42	68.9%	11	18.0%
8.加茂	6	31.6%	12	63.2%	15	78.9%	3	15.8%
9.有秋	5	31.3%	10	62.5%	11	68.8%	3	18.8%
10.ちはら台	10	55.6%	8	44.4%	14	77.8%	3	16.7%
11.国分寺台	7	46.7%	5	33.3%	11	73.3%	2	13.3%
12.千種	2	28.6%	5	71.4%	5	71.4%	1	14.3%

問3 町会の負担感が増している理由について、当てはまるものを選択してください。（複数選択可能）

選択肢	回答数
1. 役員・会員の高齢化	266
2. 未加入世帯の増加	108
3. 現役世代の共働きの増加	126
4. 核家族化による世帯人数の減少	133
5. 会員の町会・自治会活動への無関心	178
6. 市や関係団体から依頼される業務の増加	145
7. その他（自由記述）	33



7. その他（自由記述欄）回答一覧

人手不足・なり手不足

- ・ 役員のなりて不足。同じ者が何度も役員になっている。
- ・ 市、JA、各団体等、活動を増やせば役員の選出があり、役員をできる人がいない。
- ・ 町会役員の選出に苦勞する
- ・ 町会員の方の高齢化に伴い役員を引き受ける人が少なくなり、すぐに役員が回ってきて負担を感じています。
- ・ 会員の活動への無関心に困り、活動が嫌だったり、役員になりたくない為に自治会を抜けたり、決まった人しか活動（親睦会、美化、資源回収等）に参加しない為、活動の幅が広がらない
- ・ 高齢化により後継者が少ない。協力性がない。
- ・ 働く年代の高齢化。遅くまで働きつづけ町会業務ができない。
- ・ 町会役員の高齢化に伴い、役員の業務が動けるに人に集中してしまう。
- ・ 現役世代が雇用延長されることにより、従来の定年後も務めている人が多く、町会に参与していただけなくなってきている為。
- ・ 町会の為に活動するというよりも、町会にお願いすれば、なんでも対応してくれると考えている人が増えている為。
- ・ 市の職員の知識モラルが以前と比較して低下しているように思われます。
- ・ 次世代を担う若い人の減少
- ・ 現役リタイア後の就労者の増加
- ・ 町会長や幹事のなり手がいない
- ・ 町会長あるいは少数に負担がかかっている為
- ・ 市や関係団体の会議や集会など月～金曜日が多く、勤めている役員は参加できない。
- ・ 役員に会社員が多く、休みがとりづらい

町会活動内容の負担感

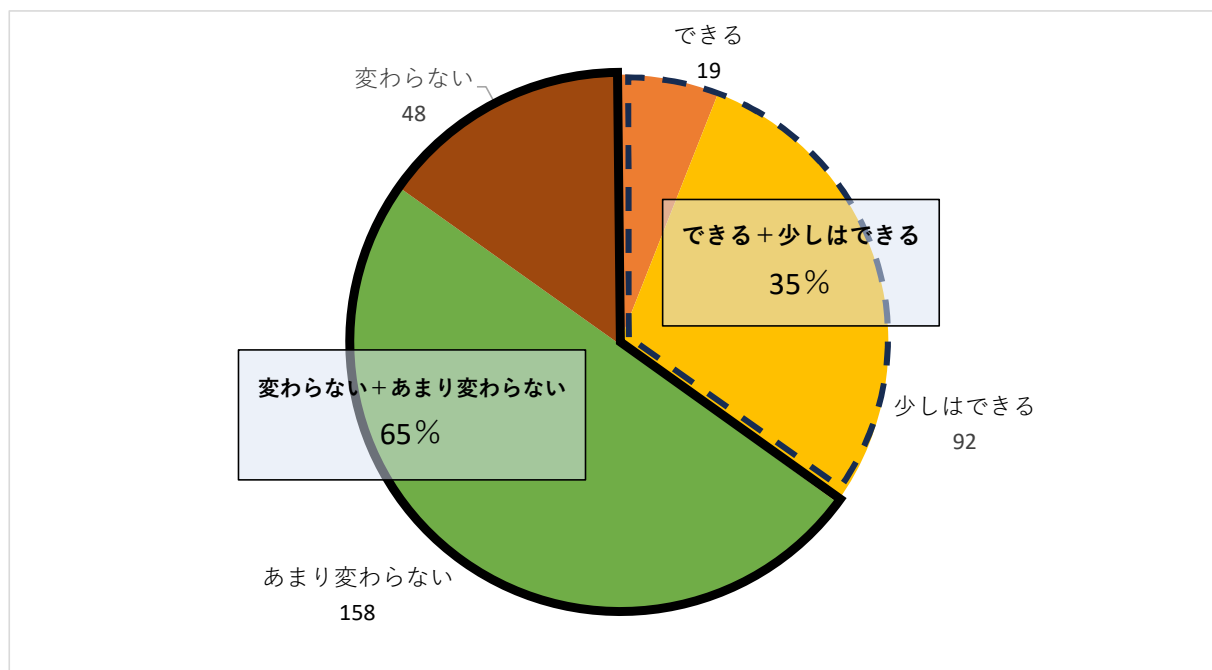
- ・ 町会の適正規模化が必要。500世帯以上もあると物量による負担感が増大。
- ・ 不要と思われる回覧物が多い
- ・ とにかく回覧物の多さおよび受領日の広がり
- ・ 地区防災会発足により、町会の自主防災活動に加え、地区防災活動が増えたこと。
- ・ 会長を主体とする集まりが多く、大変だと思う。特に平日の会合があるときに思う。
- ・ 防災意識向上により町会役員の負担が増加している。
- ・ 町内の苦情や申請の受付窓口としての負担が大きい
- ・ ごみの分別、不法投棄、隣接世帯トラブル、空き家の増加、認知症の増加、ボランティアの減少
- ・ 共働き、子育て、核家族、それだけでも忙しいのに会議、委員会、イベントへの参加等やるが多すぎる。
- ・ 空き家が増えてきた。周囲の木・草の管理が進まない。
- ・ 空き家・空地対策：相続に伴う土地所有者の所在が不明で雑草対策等に苦慮。
- ・ 役割が多い。行事も多い。
- ・ 町会の連合会が存在し、そこから要請ではない依頼がきて（断ることができない）、そのためのマンパワーが必要となり、個別町会の活動もあるため、負担が二重増し

その他

- ・ 状況にあった対応が不足。変化がない。
- ・ 町会から他へ転出が多い
- ・ 高齢者の相互支援、 若年層の自治会活動への無関心
- ・ 上（役所， 上部組織）からの一方的な伝達ではなく、 拡張会の意見・ 実情を大切に実態把握に力を入れるべきではないか。
- ・ 地域の環境美化活動として一斉清掃などで団地内及び近隣の清掃活動を行うが、 不法投棄などが無くならず徒労感がつきまとう状況と思う。
活動の成果が実感出来るのは数日程度と言って良い状況であり、これが年度単位で繰り返されると、 地域のために実施すべき事との認識で始めたことであっても負担を感じるようになってくる。
団地内空地の地主に毎年草刈り依頼状を発送するが、協力を得られる地主は良くて2割程度であり、交通安全、 美観、 衛生などの観点から放置出来ないために自治会で角地の除草を行っているが、 年々協力者が減少し、 現在では概ね固定された少数の方で活動を行っており、 負担は間違いなく増加している。
- ・ あまり感じない

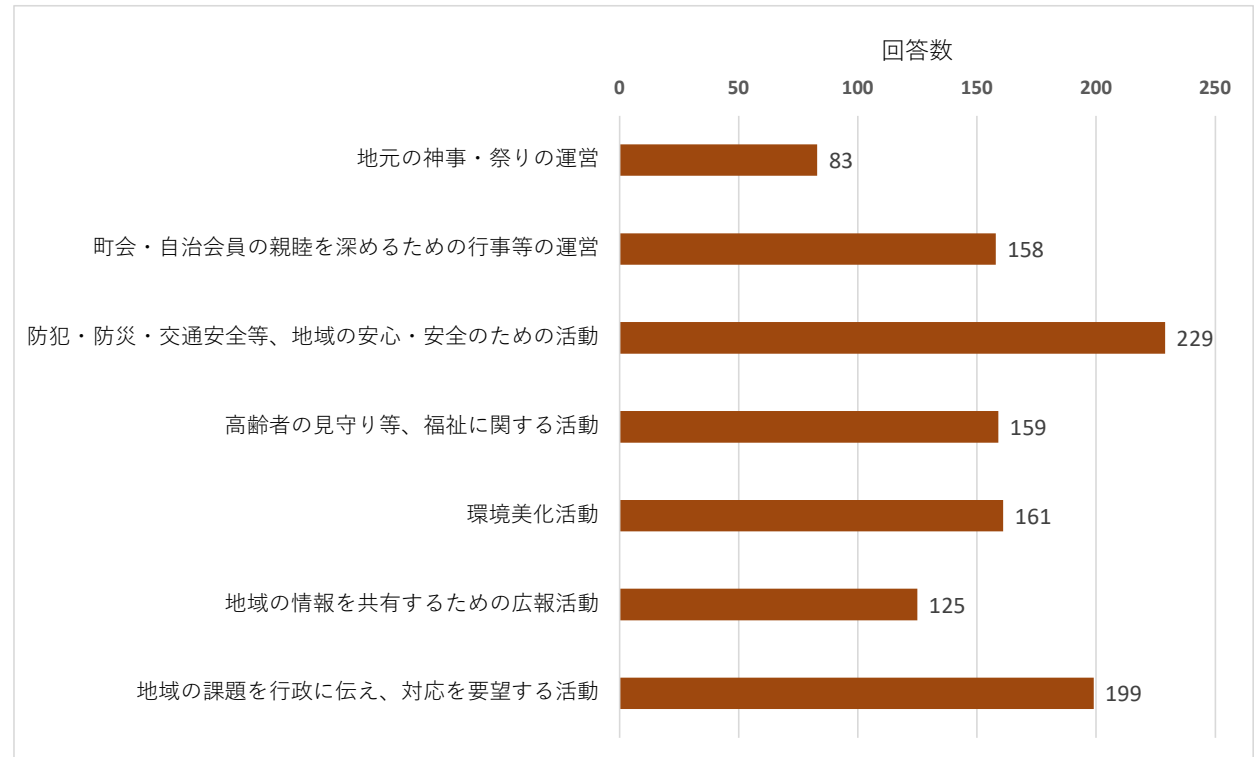
問4 市から依頼される業務が削減された場合、町会・自治会として本来やりたかった事業等ができると思いますか。

選択肢	回答数	割合	
1. できる	19	6.0%	35.0%
2. 少しはできる	92	29.0%	
3. あまり変わらない	158	49.8%	65.0%
4. 変わらない	48	15.1%	



問5 町会・自治会が本来担うべき役割は、どのようなものだと思いますか。（複数選択可能）

選択肢	回答数
1. 地元の神事・祭りの運営	83
2. 町会・自治会員の親睦を深めるための行事等の運営	158
3. 防犯・防災・交通安全等、地域の安心・安全のための活動	229
4. 高齢者の見守り等、福祉に関する活動	159
5. 環境美化活動	161
6. 地域の情報を共有するための広報活動	125
7. 地域の課題を行政に伝え、対応を要望する活動	199
8. その他（自由記述）	17



8. その他（自由記述欄）回答一覧

行政との中間地点

- ・ 住民と市の仲介役
- ・ 町会の維持、行政との窓口
- ・ 個々では対応できない、防災、減災活動を市や県と協力して進める。

他団体と似たような役割

- ・ 市社協が事業としてやっていることは町会の役割だと思う
- ・ 各企業マンションの自治会のような業務が必要

具体的内容

- ・ 近年の温暖化による防災意識。（大雨、土砂災害）
- ・ 町会規約（活動目的）会員相互の親睦、福利の増進、生活環境の改善を図り、地区の明るい町づくりに努めること。
- ・ 地域の暮らしやすさ実現の為に旧来の慣習や行事の改新とインフラ、町会設備等々の整備の為、行政への補助等の要望と実現による地域の活性化と発展
- ・ 生活拠点としての最小単位のコミュニティであることから、楽しく暮らせる地域づくりを目指す
- ・ 町内の問題を見つけ改善する活動
- ・ ゴミステーション管理
- ・ 2～7 迄すべて役割だと考えている。
- ・ 交通手段に係る要望申請

不要

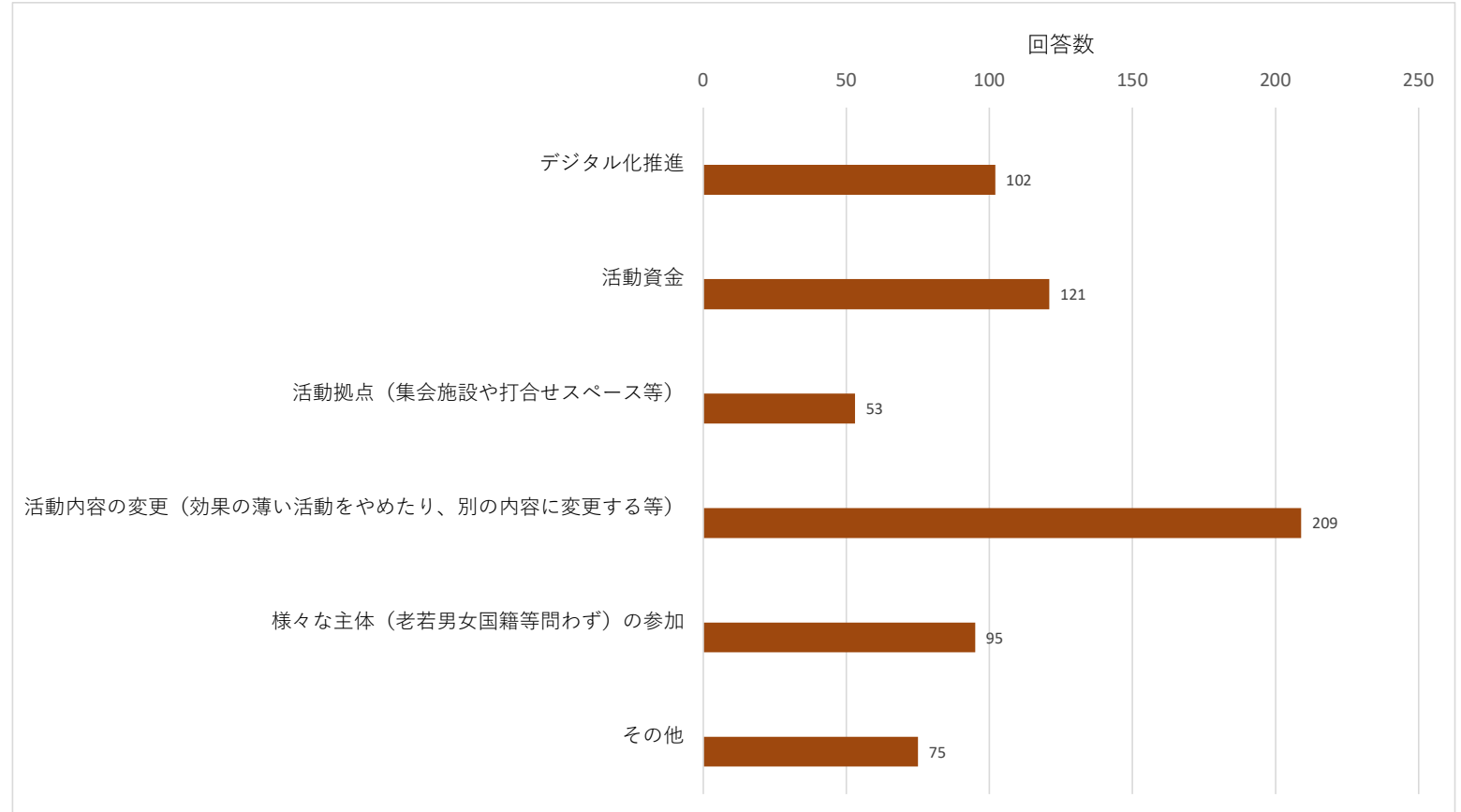
- ・ 町会自体いらない
- ・ 町会に本来担うべき役割なし

その他

- ・ 高齢化のため行事参加が負担になっている
- ・ 特になし

問6 今後、町会・自治会が持続していくために、何が必要だと思いますか。（複数選択可能）

選択肢	回答数
1. デジタル化推進	102
2. 活動資金	121
3. 活動拠点（集会施設や打合せスペース等）	53
4. 活動内容の変更（効果の薄い活動をやめたり、別の内容に変更する等）	209
5. 様々な主体（老若男女国籍等問わず）の参加	95
6. その他	75



6. その他（自由記述欄）回答一覧

加入世帯の維持、増加

- ・ 年々町会の人が減っています
- ・ 未加入世帯をなくすこと。強制的にでも参加させることが必要かと思います。町会、自治会活動へ参加したがる人が多い現実がある。
- ・ 現役世代は忙しくて、構っている暇がない。その他は無関心、メリットがないからだと思うが、町会活動に周囲の理解は得にくい状況である。
- ・ 実際に参加してみないとその意義は永遠に分からないと思うので、強制的にでも参加させないと存続は難しいでしょう。ただその際に負担が大きくなるのは避けたい。
- ・ 当町会は一戸建て住居者は少なく、またアパート等新住民が多い為町会組織運営は大変難しい。尚役員会議は和更堂で行なっている（9年目）。
- ・ 町会未加入世帯からの自治会維持と活動に対する資金負担の検討（掲示板、ゴミ置場整備やインフラ保全のための陳情活動）
- ・ 町会加入のための具体的な施策（町会脱退を強く防止する）
- ・ 未加入世帯を減らす
- ・ 人員
- ・ 町会加入の義務化
- ・ 活動可能な人を継続的に確保すること

役員のなり手確保

- ・ 人材不足（役員の担い手不足）地元出身の市職員（退職者含）の積極的参加をお願いしたい。
- ・ 町会役員、特に町会長、副、会計を受けてくれる人がいなく、このままだと町会自体がなくなる。となりの地区と合併することも無理。（相手が引き受けてくれない）
- ・ 高齢化のためか町会長になる人がいない。
- ・ 町会長や幹事のなり手
- ・ 役員の選出（選び方）
- ・ 回覧、会議議事録、資料作成するパソコン技術、自治会費の使途、会計をまとめられる人材。

若い世代の参画

- ・ 若い人手
- ・ 若い方々の町会運営への参加を進めていくこと
- ・ ①若い世代の方々が町会・自治会活動に参加できる環境作り。②高齢役員と若い役員の役割分担を明確にする
- ・ 中学生！！、高校生の町会活動の参加
- ・ 町会活動参加者の世代交代（＝現役世代の町会活動への参画）

町会の本来的な活動を考える

- ・ 困っている人に手を差し伸べるサポートする活動が主体であるべき
- ・ 地域の問題を聞き、対応し処理すること
- ・ 福祉の一部を担う意識をもつこと。
- ・ 活動内容の明確化

町会・自治会活動への関心・意識を高める

- ・ 町会への参加の意義等をわかりやすく表現できれば参加者が増え、意見行事等が増え、継続していくのでは。
- ・ 町会員の町会組織への参加意識
- ・ 会員の無関心、PR不足、高齢化（すべて）
- ・ 地域住民の自治会活動に対する意識改革。
- ・ 町会員全員の活動意識向上
- ・ 町会活動の啓蒙
- ・ 町会加入の意義、未加入と差
- ・ 町会の原点である安全安心で暮らしやすいまちづくりを住民一人一人が意識することが大事と思う。

活動の簡素化や参加しやすい形態への変化の必要性

- ・ 防犯パトロールは、時間帯も夜7時からで、まだ地域の方も起きている時間なので効果を感じられず、働く人にとっては、その時間帯にパトロールするのは負担を感じる。
- ・ 高齢や病気、仕事等様々な事情を抱えていても町会の役員活動ができるよう業務を簡素化すること
- ・ 最低限の活動でよい
- ・ 少子高齢化に伴う、行事の縮小
- ・ 運営の事務量軽減対策が必要では
- ・ 例えば町会諸会議は町会の目的を達成するための手段と思うが、会議が町会活動そのものと勘違いする傾向がある。その結果、実益が伴わない不毛な会議が多くなり、将来を見据えたポジティブな意見が出にくい。
- ・ 広報活動（回覧板等）は少なくしてほしい。

町会・自治会の合併

- ・ 高齢化が進み（近い将来）町会がなくなるおそれがあるので合併を考えてもらいたい。
- ・ 各町会、若い人が家を離れてしまい高齢化が進み限界集落に近い状態になっている。町会でこなしていく役職は常にある役職が14、廻り番の役職が4程度あります。
- ・ 戸数は現在19戸で、この先増えることは無く減る一方です。戸数より役の数の方が多くなっていくような状況なので、町会の合併などという考えが頭の片隅に浮かんできます。
- ・ そんなに遠くない将来、人材不足が原因で町会の合併が行われる可能性もあるのではないかと考えています。

市・市職員への要望

- ・ 行政との連携
- ・ 公務員の協力が必要
- ・ 高齢化に伴う市と一体となった福祉活動。交通手段確保に伴う市と一体に活動
- ・ やはり、市の職員を含め、公共の公職にある方が、町会に積極的に参加していただければ、より活性化すると思います。
- ・ 町会に入っていない人もいますし、町会費を収めているからいいと、公言して、何も参画していない人も多いです。
- ・ また、デジタル化は若い世代には受け入れられても、年配の方は抵抗感が多く、その工数も非常にかかっています。メリットもありますが、デメリットも多いです。
- ・ 上下水道設備の公共化?自治会で設備の管理を行なっている。
- ・ 市と町会の明確な役割分担、機能分掌の明確化、既述の通り、町会の適正規模化

人口増加策の必要性

- ・ 高齢化や過疎化が止まり、住人が増え、町会加入が増えること。
- ・ 高齢化が進み町会の人口が減少している為、若者世代の転入を実現し人口を増加させることが必要である。
- ・ 人口増対策
- ・ 世帯数減少の抑止(無理は承知)。近隣との合併
- ・ 世帯平均年齢の引き下げ (若い世代の移住、Uターン等)

不要

町会加入、または設立していなくても何の不便、デメリットもないので、持続する必要はないかも

①町会の必要性を感じない②超会員の社会参加意識の向上 (町会が存在していない所の不都合等行政にて把握していれば情報共有してほしい。)

自治会・町会制度の廃止 (全国レベルで)

町会自体いらない

町会、自治会自体が古臭い

- ・ 本来は地域の方々が奉仕の精神にのっとり魅力のある会に自ら入会したいと思える事が重要であり、その原点に帰って考えるべきと思う。いやいや入会したり、順番で役員をしなければならない会であるなら不要と考える。

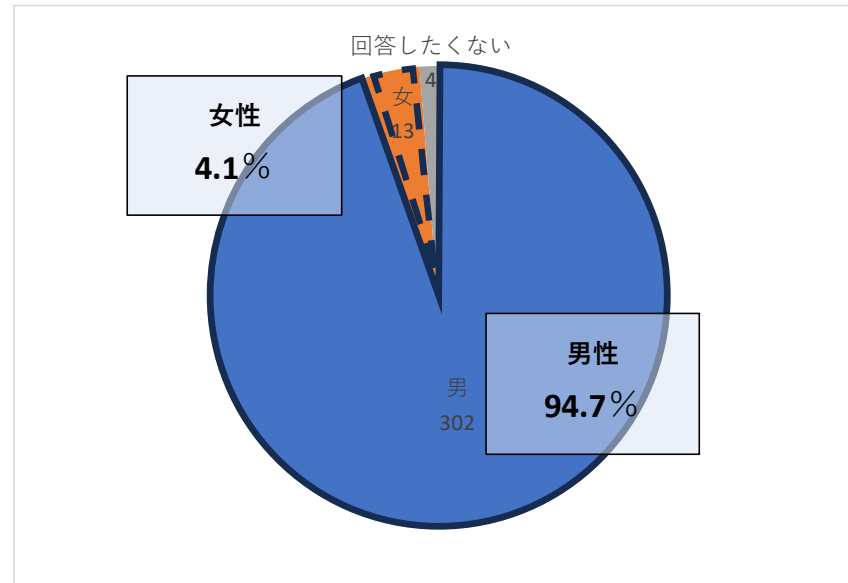
その他

- ・ 町会連合の廃止：連合会は負担が増す大きな要因であり、個別町会の運営に注力してもらうことが重要と考えます
- ・ 自治会という名前の変更と高齢者集団と分離した会の発足
- ・ 弊自治会の現状からは、大目的として自治会が存続する事が挙げられるが、一方で、会長、副会長の就任者探しが困難を極めている点や、自治会活動への協力者が限定されている状況にあることに対し、自治会周囲の環境だけを見ても、空地の除草に関して地主が非協力的である事や、竹林、山林地主の現状放置により道路上への枝張り出しなどでの交通上の潜在危険や、台風等の強風による倒壊懸念などの問題が在り、やむなく自治会側で可能な範囲で処理する作業が増えている。空地や山林地主に対する管理の義務化・罰則化などは出来ないものなのであろうか。
- ・ 町会役員に対する報酬制度の充実、ボランティアだけに頼るのではなく、必要な事は有償で行える様、制度的な対策を充実させる。
- ・ 町会長への教育研修および集会施設（公民館）の老朽化対策
- ・ 町会長の育成、空地・空家の管理、高齢者の対応、市は草刈り条例を順守願いたい。空家管理、空地管理に補助金
- ・ 町会の方のやる気しだい
- ・ 自治会館があるがそこまで行けない高齢者が増え、町内に拠点ができれば尚可。
- ・ 社会活動参加が無理になっている。身体的に弱くなっている。高齢のためデジタル化にはついていけない。
- ・ デジタル化は高齢化のためついていけない
- ・ 生活保護、年金の少ない人は町会費払うの大変だと思う。
- ・ 楽しい行事の例を教えてほしい
- ・ 何も必要ない。
- ・ なし

問7 町会長・自治会長ご自身について

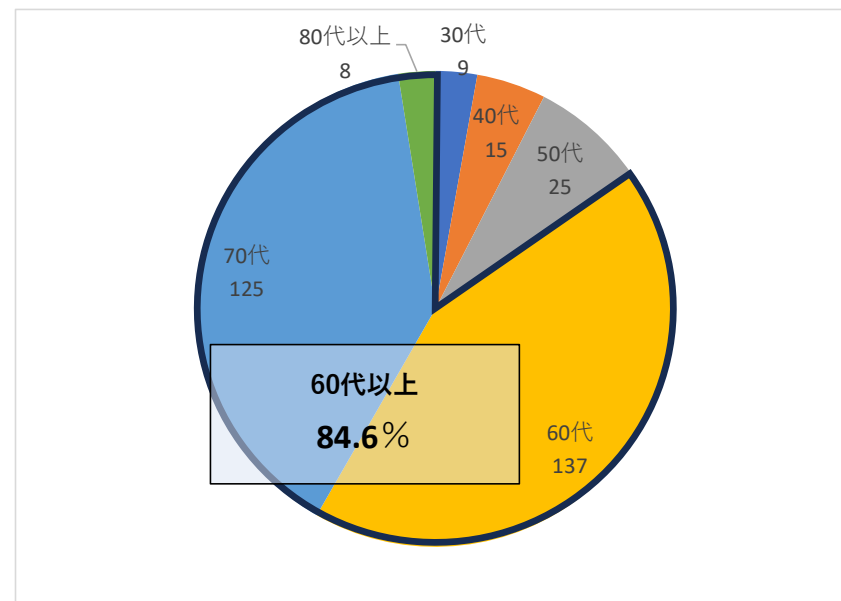
(1) 性別

性別	回答数	割合
1. 男	302	94.7%
2. 女	13	4.1%
3. 回答したくない	4	1.3%



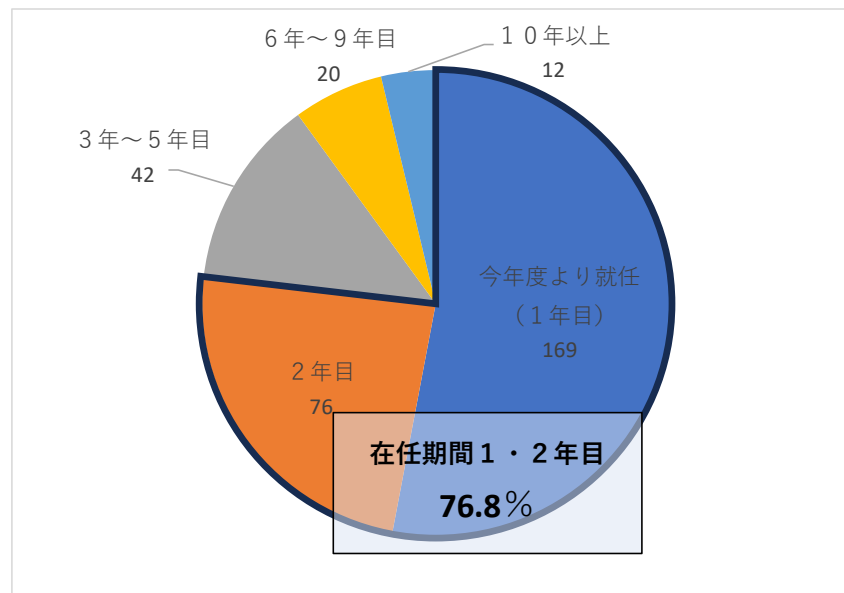
(2) 年代

年代	回答数	割合	
10代	0	0.0%	15.4%
20代	0	0.0%	
30代	9	2.8%	
40代	15	4.7%	
50代	25	7.8%	84.6%
60代	137	42.9%	
70代	125	39.2%	
80代以上	8	2.5%	



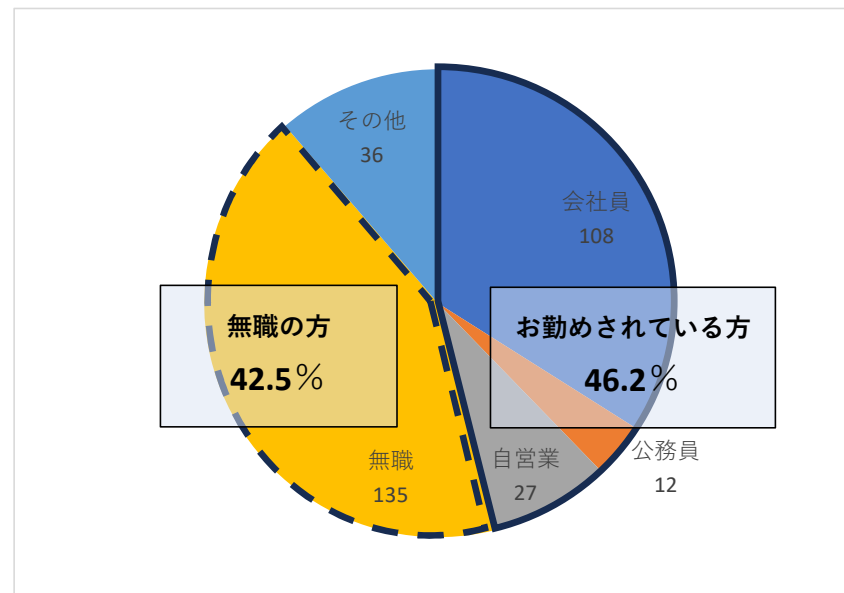
(3) 町会長在任期間

期間	回答数	割合	
1. 今年度より就任（1年目）	169	53.0%	76.8%
2. 2年目	76	23.8%	
3. 3年～5年目	42	13.2%	23.2%
4. 6年～9年目	20	6.3%	
5. 10年以上	12	3.8%	



(4) 職業

職業	回答数	割合	
1. 会社員	108	34.0%	46.2%
2. 公務員	12	3.8%	
3. 自営業	27	8.5%	
4. 無職	135	42.5%	42.5%
5. その他	36	11.3%	11.3%



(5) お住いの地区

地区	回答数	町会数	回答率
1. 姉崎	21	32	65.6%
2. 市原	44	79	55.7%
3. 五井	42	65	64.6%
4. 三和	31	45	68.9%
5. 市津	24	37	64.9%
6. 辰巳台	21	31	67.7%
7. 南総	61	98	62.2%
8. 加茂	19	34	55.9%
9. 有秋	16	26	61.5%
10. ちはら台	18	28	64.3%
11. 国分寺台	15	26	57.7%
12. 千種	7	13	53.8%

問8 町会活動全般について何かご意見があればご記入ください。

1. 仕事と町会長業務の両立の難しさ

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	今年度より就任（1年目）	65歳定年制となりつつあり、現役社員をしながらの会長業務は非常に厳しい、町民対応、市へのホウレンソウも平日に限られ、年休対応するしかない状況。
男	70代	2年目	60~70歳まで働くのが当たり前、町会役員の大半は現役。この年代の役員を主体とした町会活動に限界を感じている。若い世代（30代~50代）をどう巻き込んでいけるかが今後のキーポイントと思う。
男	50代	今年度より就任（1年目）	仕事があるので平日の日中に市役所に行くのがネック
男	60代	今年度より就任（1年目）	今後、生涯現役世代が増加すると見込まれる為、市関連書類の受け取り提出、問い合わせ窓口（一次受け可）を土曜日に開設して頂きたい。
男	60代	今年度より就任（1年目）	仕事をしながら、町会の仕事をすると、会社を休むことが多くなる。
男	70代	2年目	現役で町会長を担うのは大変。地域の部会活動が多い。
男	60代	2年目	勤めている会社は、日曜日休みであり、会議が土曜日の時会社を休むこととなります。日曜日の開催か、手当てを検討する必要があると感じます。
男	60代	2年目	自分の仕事と活動と所要等のWブッキングの時の優先をどのように調整すればよいか。町会長と役員の年齢の差があるときの対応が困難。
男	40代	2年目	仕事が大事活動の度に仕事を休みたくない。たまの休みの時に活動は勘弁して欲しい。体が休まらない。
男	60代	今年度より就任（1年目）	勤めながらの町会長、能力の有る無しにかかわらず年の順で決まる町会長やっています。勤めながらでは町会長として動ける時間制限もあり携帯電話を駆使しての活動が多い状況です。町会長会長にもなれば年間数十日もの平日の会議があるとの情報もあり、次期町会長会長も決まっています。勤めながらでも町会長会長が出来るような環境になってもらいたいです
男	60代	今年度より就任（1年目）	町会活動がやりにくくなっています。勤めている人はなかなか時間が取るのが難しいです。
男	60代	今年度より就任（1年目）	仕事との両立がきつい。平日、休日に関わらずに働かなければならないので時間がない

2. 会長及び役員のみ手不足

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	2年目	会長になると、会長自体の仕事はもちろんあるが、ローテーションは一応決まっているが、後任の会長他の役員になりてがいなく、依頼が大変。
男	60代	3年~5年目	町会員の高齢化により役員のみ成りてが不足し運営に支障をきたしている。今後更に深刻な問題となります。
男	60代	今年度より就任（1年目）	役員のみ手不足が毎年の問題となり同人物が長期に渡り継続せざるを得ない。
男	60代	今年度より就任（1年目）	役員のみ手確保について、地域の各種団体を含めた連携が望まれる。
男	70代	3年~5年目	町会役員を敬遠（役員受諾）される。役員をやらなければならぬのであれば、町会を退会するとの意見がある。
女	50代	今年度より就任（1年目）	○役員のみ手がないため存続が難しい ○市の下請け業務は本来行政の仕事 ○町会は不要
男	70代	今年度より就任（1年目）	世帯数の少ない町会なので今年で町会長3回目。ほぼ、何かの役は4~5年に一度回ってくる。行事の中でも夏祭り、各訓練等の動員の依頼と人員の確保。町会役員が高齢化していること。
男	70代	今年度より就任（1年目）	町会長は2回目。加茂地区を中心に、世帯数の少ない町会は複数回が至極当然と思われる。
男	70代	2年目	当町会役員になりてがらない傾向がある。役員を逃げる。

3. 町会長・自治会長の負担やあり方等について

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	今年度より就任（1年目）	防犯パトロールを月一回行っているが、私は足が不自由なため妻に代わりに行ってもらっている。妻は仕事をしているため負担を感じる。
男	30代	今年度より就任（1年目）	自治会長の負担が多いと感じました。情報が多すぎて何が大事なことがわからなくなります。休日がなくなります。会議の回数も多いです。
男	70代	今年度より就任（1年目）	自治会長に依頼が来て、その役務を副自治会長等に振り分けられない場合、結果、自治会長自身で引き受けざるを得ないケースが多々ある。
男	50代	今年度より就任（1年目）	紙での回覧・配布は不要では。街灯（防犯灯）が自治会管轄ではなく行政管轄にすべき。負担が自治会加入者だけに偏るような、正直者が損をするというのはいかかと思う。自治会長や役員選出時は本当に成り手が決まらずやむを得ず引き受けた。災害時の共助の大切さは理解できるが、成り手がいない最大の理由は負担が大きいことだと思う。私はちはら台地区の一自治会長ただだが、それでも4月から自治会関係の会議が毎週のようにある。ない週でも会議や行事の資料づくりに追われ（出張の移動中にも資料作成したこともある）、休日がほとんどない状態。さらに上部団体の役員の方はもっと忙しいように見受けられる。人の善意に頼った自治会運営には限界があると思う。もっと誰もが参加しやすいものでなければ自治体運営も継続できないのではないかと考える。

4. 会議や委員就任、その他業務依頼が負担

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	今年度より就任（1年目）	町会長が各種会議の委員になり、形式的な会議に出席しなければならなく負担だ。町会長の選任にも支障をきたすのではないかな。
男	60代	今年度より就任（1年目）	各種協力金、募金等の集金業務を町会に依頼するのはやめてほしい。
男	60代	今年度より就任（1年目）	世帯数減少、核家族化により町会役員の確保が困難になっています。フルタイムで就業しながらの町会長業務に加えて、関係団体からの「町会長＝〇〇委員」的な割当ては負担が大きい為、体制の見直しを望みます。
男	60代	今年度より就任（1年目）	各種団体の会議が多すぎる。
男	60代	今年度より就任（1年目）	各種団体の会議への招集タイミングについて、それぞれの団体がおおののタイミングで招集するため多い月には毎週土曜日に召集される。しかも、昼間ど真ん中の13:00からと成っている為、その日は午前も午後も中途半端な時間しか取れないので、まともな事業ができない。各団体の横の繋がりを深めて、1度に纏めて招集できないでしょうか？。町会・自治会役員の殆どの人たちは仕事に就いていると思います。従って、土曜・日曜が事業活動のメインとなります。其の貴重な時間を会議 会議で取られてしまっは何も出来なくなってしまいます。招集する時間と回数の効率をを考えて下さい。各団体の役員さんは、その団体の会議ですが召集される我々には、全ての団体の会議に出席しなければ成りませんから！！。
男	50代	今年度より就任（1年目）	各協会などの会議が多すぎる。それが時期的に集中しているため、その時期に2周に一回というペース。また、それらの会議は終わりの時間が見えないため非常に困る。町会独自の行事に影響が出る。考え方に賛同できる事業には色々協力したいと思っても、この様な状況では負担が増えるだけなので止めようと考えてしまう。
男	60代	今年度より就任（1年目）	町外活動は町会長の参加希望等の意志を聞いてほしい。適当に役を当てられても出来ない。
男	60代	今年度より就任（1年目）	町会長在任期間同様に退任後においても、市関連団体の任務が継続していくことが多い。
女	40代	今年度より就任（1年目）	町会長が強制的に実行委員になっているのは、どうかと思います。市のイベントだと事前の会議、前日からの準備等、仕事をしながらの参加は負担に感じます。
男	70代	10年以上	町会は一定区域内に居住するすべての世帯とともに、地域内の共同管理に当たる自治組織とされています。しかるに区域外で行われる諸団体の行事に当たり、一方的に動員要請をされるのは町会の存立の原則を越えるので困っている。
男	70代	6年～9年目	社会福祉活動が団体で重複している活動がある。一本化をお願いしたい（町会、少域ネットワーク、民生委員）、社協
男	50代	今年度より就任（1年目）	関係団体の会議、依頼が多いと思う。
男	70代	6年～9年目	町会長と社会福祉協議会の支部を合体する。市社協からの依頼事項が多い。ほとんど本来は町会長の仕事だと思う。社協の小域NWの推進委員にも町会長が入っている。社協から使われている感あり。
男	50代	10年以上	町会長＝他団体役職と言うのが多い気がする。
男	70代	今年度より就任（1年目）	自治会活動は地域住民のために行う活動であって、各種団体・協議会・協会等の為に行う活動であってはならない。

5. 高齢化の影響

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	3年～5年目	高齢者ばかりで、若手の協力が無い。
男	70代	2年目	毎年高齢化が進み、若い者が少なくなり、若い者の意識も少なく、若い者が家を出る人が多いのでこれからの町会活動が難しくなると思います。
男	70代	6年～9年目	高齢化が進み、町会等への参加率が低下している
男	70代	3年～5年目	町会の役員を含め、住民の高齢化が進み、イベント（市民体育祭等）の参加お願いが難しい。
男	60代	3年～5年目	高齢化が進み、力仕事や最新機器の扱い方など分からない住民が多い。ちょっとしたこともできずにいる人も多い。空き家対策が進まない。
男	70代	10年以上	防災について役員、班長10名で支援者を助けることができない。役員が高齢者、若者が少ない。
男	60代	2年目	会員の高齢化、子どもたちの減少もあり活動全般が思うようにならないことがある。どのようにするか考える必要がある。
男	70代	10年以上	高齢で怒りっぽい人が出てきた
女	40代	今年度より就任（1年目）	町内会会員の高齢化により、以前までの活動内容、役員の業務が難しくなって来ている。今のままではその負担が子育て世代に片寄っていく懸念がある。
男	60代	今年度より就任（1年目）	高齢化により参加者が特定されるため、活動を減少させる
男	70代	今年度より就任（1年目）	高齢化が進み、将来町会活動に支障が生じる時期の対応について。空き家が増えてきているが、影響、問題にかかる解決策の難しさ。高齢化に伴う防災活動の難しさ。
男	70代	今年度より就任（1年目）	高齢化で班を抜けるが町会に残る。班の運営が厳しくなっている。（高齢で班長はやりたくない）班長の業務、集金、回覧物の回覧等あり。
男	70代	今年度より就任（1年目）	どうしようもないことだが少子高齢化が心配。10年後どうなることやら。
男	70代	3年～5年目	高齢者が多く大変です
男	60代	2年目	高齢化のスピードが早いので、町会長・役員をできる人がいない。業務の簡素化が必要。
男	60代	今年度より就任（1年目）	高齢化に伴い、町会行事、作業が以前に比べ難しい。小さい町会のため、隣接の町会等との合併も視野にいれる。

6. 交通手段がネック

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	今年度より就任（1年目）	バスの便数が減り、通院や買い物に不便を感じる。高齢化が進み、将来の町会活動に支障が生じることの不安を感じる。
女	80代以上	3年～5年目	良い点、小さい町会なのでまとまりがある。これからの悩み、町会長を受けたがらない理由、高齢になり車の免許返納するため、足がない！

7. 住民の参加促進

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	2年目	コロナのため、町会活動が少なく、会員の無関心が認められる。
男	70代	6年～9年目	若い世代（20～30代）の町会事業への参加率が悪い。事業協力があるのは50～60代。BBQ大会等の遊びのイベントにはほぼ参加がある。
男	70代	6年～9年目	歴史ある町会の役員も長年経験済みだが、現在の新興住宅地住民、商店等の町会運営は大変難しい。回覧板だけでも一部の家のみで廻っている。
男	60代	2年目	町会未加入問題は、行政上は同じ市民という扱い上、待遇に差を設けることはできないと思いますので、むしろ「まちづくりサポート」を更に進め、加入者を優遇手助けする共同体的町会活動への支援追加をお願いします。
男	60代	2年目	町会役員だけでなく、住民の自主的な協力が必要だと思います。
男	70代	3年～5年目	地域の人のつながりが希薄になっていると感じます。顔の見える人と人とのかかわりを増やす活動が大切と感じます。

8. 他の町会の活動を知りたい

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	今年度より就任（1年目）	各町会で色々な活動がなされていると思うが、この町会ではこの様な活動をしていて、こうなっている。とかの情報提供があれば良いと思う。
男	70代	今年度より就任（1年目）	町会に入っていないと何か問題ありますかとの質問がよくある。他の町会との活動内容がわかる資料があればほしい。

9. 回覧物の削減

性別	年代	町会長在任期間	意見
女	60代	今年度より就任（1年目）	回覧、ポスターの数がとても多くて必要無いと思われる物も多いポスターなど印刷代が高い物ら各町会に配布では無く人が集まる場所に限定して配布するべきと思うまたは各町会に事前に必要枚数を確認すべきだと思う毎回捨て居ます。これも税金と思うともったいと思います。
男	70代	10年以上	市からの回覧物が多すぎる。町会として半分以上がいらぬ。
男	70代	3年～5年目	市各部及び課にての回覧物等に付き、配布枚数にて、市から町会へ1年間にて経費として金額をしはらったらどうですか？ ○数×○円＝金額
男	50代	2年目	回覧版は紙の削減、手間を省くため、デジタル化が良いと思います。
男	70代	今年度より就任（1年目）	現状はすべての情報伝達が紙による回覧で行われていることが主流であるが、手がかかることは致し方ないことです。デジタル化への移行は問題が多すぎて、現実離れしているが放置できない全国的に取り組むべき自治体の問題です。
男	50代	今年度より就任（1年目）	回覧文書は、地元を優先し、月1回が限度。市から届く物は選択して回覧しているため、半分以上が回覧できない状況です。
男	70代	3年～5年目	最大の希望は回覧物の削減及び発刊元団体を集めて発刊日の一元化を試みる。町会長は宅配業者ではない。
男	60代	2年目	防災関係、防犯関係、市民の健康に関することなどを中心にして、回覧物を減らす方向が良いと思います。各イベントの回覧は必要ないと思います。必要最小限の情報のみで、他にも地域の回覧物もあり、結構な量になりますし、関心のある方は自身で調べたりすると思います。
男	70代	今年度より就任（1年目）	行政よりの回覧が多すぎるので必要最小限にして欲しい。行政側で回覧発出のガイドラインを定めてチェックを厳正にお願いしたい。
男	70代	6年～9年目	回覧物は最小限にてお願い致します。

10. デジタル化の推進

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	6年～9年目	自治会・町会活動のデジタル化を早急に具体化してほしい。（申請、届出含む）
回答したくない	50代	2年目	今の時代にあっていない。デジタル化にして不必要な物は無くしてほしい
男	30代	今年度より就任（1年目）	毎日自治会の仕事に追われており、仕事にも影響が出ています。リモート会議等で負担を減らす等工夫が必要かと思っています。

11. 町会活動の在り方、行き詰まり、改善策

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	2年目	この地区は特に多忙過ぎます
男	70代	今年度より就任（1年目）	行政⇄町会の連絡ルートの一極集中化が負担増の大きな要因となっている。分散方式または専門集団を別途構築してなんとか減らさないと町会長の成り手が益々減少してしまう。
男	70代	2年目	役員、評議員など高齢化活動に前向きでない。若い班長などは無関心。勤め優先で活動に参加できない。
男	70代	2年目	防犯街灯、環境美化、重要公共工事参画等を重点に。労力、金銭等の負担少なく、気楽な町会運営に。
男	60代	今年度より就任（1年目）	町会未加入世帯からの自治会維持と掲示板、ゴミ置場整備やインフラ保全のための陳情等の町会負担に対する資金負担の検討が必要ではないかと考えています。
男	60代	今年度より就任（1年目）	本町会の特殊事情もあると思うが、戸数が少なく高齢化が進む中で、維持管理すべき神社仏閣が多すぎる。一方でそれらの歴史的価値を考えると誰かがやらなければ、錆びれて行くのは目に見えている。行政でフィールドマップを作るなどPRすることは良いことだと思うが、来訪者に苦情を言われることもあり、道具や燃料を自己負担しながら維持管理をせざるを得ない状況を改善する政策が望まれる。
男	70代	2年目	町会町会（地区）の視察研修の減少、毎年の実施の中止
男	60代	2年目	数年前に町会会員同士のトラブルで、脱会者が出ている。その脱会者に対して、町会費はいただいています。共有施設（ゴミステーション）を使用しているのであれば、共有施設費を徴収するべきとの意見が出ています。町会からの脱会でトラブルは静まっていますが、解決もせずうやむやになったままです。昔のトラブルで、脱会者から今更共有施設費をお願いするのも、古傷に塩を塗る、火に油を注ぐようなことを行えば、またトラブルになりそうなので解決策が見つかりません。
男	70代	3年～5年目	町会活動の参加者減少。高齢者の見守り等、福祉に関する活動が増加。
男	60代	今年度より就任（1年目）	通常ルーティン業務や会員からの要望もあり、対応に追われているのが現状。市政末端の執行体の様では次に続く人がいなくなる。役員含め考えていきます。
男	80代以上	10年以上	当町会での役員構成は、町会長が専任する常任理事15名と順番で廻る各班理事（班長）15名の計30名で運営している。常任役員の任期・退任は町会長の判断による。常任役員を置くことで、その経験が、行事や活動に生かされている。他の町会長から「行事や活動が継承できない」等の話を聞くと、役員構成を工夫すれば良いと思う。参考になればと記載した。
男	70代	3年～5年目	町会の負担感が増しているかどうかは、正直なところ2～3年の町会経験ではわかりません。負担の感じ方は個人の職能、意識の持ち方で変わると思います。ただ、町会雑務についてなど削減出来ないかどうか検討し改善することが大事と考えます。当町会では、町会諸文書（町会行事案内、町会費集金依頼など）は過去データとしてパソコンに蓄積し活用出来るようにしています。また、町会費領収書についても以前は全会員あてに作成していたものを現在は領収書希望者のみ発行としています。このように少しでも無駄を省きながら、町会に今何が求められているか、また今後次世代への課題にいかに対応するかに注力し「町会活動の見える化」で町会をアピールしていくことが大事だと考えます。
男	70代	今年度より就任（1年目）	活動可能な人の継続的な確保のために、役割分担を集中せず幅広く多くの人に担ってもらう体制を作ること。
男	60代	3年～5年目	町会活動と神事（特に神輿の徒御）を切り離したいのですが、氏が反対している。だいたい地区では担ぎ手がないので、他地区からわざわざお願いしてきてもらっている。地区の人が担がないでご利益がありますか。
男	70代	3年～5年目	義務とか「お仕事」ではなく、楽しくやれる活動がないか。気の持ちようかもしれないが、「楽しくなければ仕事じゃない」といえるような内容のものがたまにあるとよいのでは？
男	60代	今年度より就任（1年目）	経験ある町会長ならば、市からの依頼される多岐の業務に対処できるでしょう。そのような精鋭なベテラン町会長を望むのか、1人でも多くの人々が町会長を経験してもらいか。私は、後者を選びたい。
男	70代	2年目	個別の問題ですが、町会長の任期が少ない為、活動内容の理解が難しく、自治活動が図りにくいことと範囲が広く、新たな仕組みや対応の検討ができない。
男	60代	6年～9年目	町会が一丸となって積極的に活動できる体制の構築が必要である。（リーダーの教育）
男	50代	2年目	地域社会において町会が果たす役割はとても大きく、持続可能な状態にすることが喫緊の課題と思います。
男	30代	今年度より就任（1年目）	なくせるものはなくしてもらいたい
女	50代	今年度より就任（1年目）	高齢や様々な事情を抱えていても町会の役員活動をあまり負担を感じないように分担、協力して取り組んでいけばいいのですが、大変難しいと感じます。内向きで消極的な高齢者にどう役員活動に参加していただいたらいいか悩んでいます。

12. 市・地区会・連合会の協力が欲しい

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	40代	2年目	①土砂災害警戒区域の点検を行ったが、私有地であり、処置は市役所側で対応していただけると助かります。地区防災計画で点検を行いました、その処置までのフォローが欲しいです。②災害時の支援物資については町会会員については取りまとめて対応は行いますが、未加入の方まで把握はしていませんし会費も払わない役員もやらない方の面倒は見切れません。そちらの対応は市役所でお願いしたい。③街路樹が電線に引っかかっており危険を感じる。強風時に倒木による停電の可能性がある。伐採の要望書を提出したが回答がない。④避難行動要支援者や小域福祉ネットワークの高齢者平素見守り支援等、似たような活動が複数団体で重複している。簡素化のとりまとめをお願いしたい。⑤回覧文書には右上に回覧の表示をお願いしたい。ないものは捺印しているが負担である。カラー文書は捺印に不向きである。⑥ポスター等の掲示の依頼は掲載期間を記載してほしい。サイズもA4にしてほしい。掲示板に貼り切れない。⑦人口減少、町会員減少を止めるために人口増加への施策をお願いしたい。特に空地や空き家に対して積極的な対応（売買の斡旋等）をお願いしたい。⑧町会で対応に困っているさまざまな問題事について対応処置の相談できる部署があると助かります。
男	70代	6年～9年目	教育委員会を含めた市役所部内の連携不足を感じる。
男	70代	3年～5年目	町会長の負担軽減のため、市への要望等について、町会・自治会からの検索欄を設けて、スムーズにメール等で要望依頼や問い合わせができるようにして欲しい。また、回覧物は回覧しても見ないで回す人が多いので、必要不可欠なものだけにしたい。(取り敢えず、美術館やイベント等の情報は町会の判断で、選択性にします)それから、今回のアンケートの問1、問2は、何を知りたいのか、どのように考えればいいのかわかりません。具体的な質問内容にして貰った方が分かりやすいと思います。(問1、問2を見ただけで頭が痛くなり、後回しになりました)まとめる側の都合を優先させた結果だと思います。色々なアンケートで思うことですが、該当する人にやって貰ってから、変更するところは変更して、依頼するべきです。(手間を取らせるわけですから)。更に、町会長・自治会長の負担を軽減するためには、小中学校の卒業式・入学式や運動会・体育祭への招待を考えて頂くように、関係部署に提案します。(都市部では、招待しない傾向にあるようです)
男	70代	3年～5年目	今後共、窓口として支所の在り方は町会活動を持続するために不可欠の要素と思われます。
男	70代	今年度より就任(1年目)	案件ごとに各部署に問い合わせをしており、縦割り行政の弊害を解消するため、総合窓口を設置、案件ごとに各部署につなげてはどうでしょうか。
男	60代	今年度より就任(1年目)	高齢者の活動のための交通手段に困っています。免許返納等活動拠点～自宅の移動手段に限界あり。イベント時市の助けが必要と感じます。
男	70代	今年度より就任(1年目)	先程も一部記述したが、各町会や自治会がどのような実態にあるかもっと把握すべきではないか。上意下達では難しいし、役員の高齢化、未加入世帯の増加など現状のままでは先細りするばかり。町会長として頑張りたい気持ちは強いがどうも雑用係的な感触が拭えない。内部に改革も必要と思うが、正直それだけのパワーが残っていない気がする。
男	70代	2年目	行政協力交付金とは別に町会役員に活動費を支給してもらいたい
男	60代	2年目	アンケートの負担に感じる項目に関しては殆ど対応をしていない。特に高齢者対応に関しては周囲の連携不足も有り全く対応していない。個人的には緊急対応対策設備への資金援助と市への申請及び積極的指導が欲しい。
男	70代	今年度より就任(1年目)	町会の美化活動(草刈りや缶拾い)に80を超える男女、高齢者も参加していただいているのが現状です。市に依頼してもなかなか実行していただけない。非常に危険な状態もあった。道路、歩道の除草は市としてもっと増やしてほしい。
男	70代	今年度より就任(1年目)	①通学路にグリーンベルトを設置するなどし、子どもを育てやすい環境を実現する、②太陽光パネル設置後の草刈り等の管理(草刈りのままだと火災発生の原因になる)を徹底する、③地権者が町会以外の空き家を市で監視・管理(地震でブロック塀が傾いている等)して欲しい。

12. 市・地区会・連合会の協力が欲しい（続き）

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	70代	今年度より就任（1年目）	広報「いちほら」以外に、コミュニティ毎に各戸配布を前提とした広報誌があるが、回覧を担当する班長の負担となっている。回覧しても取り残しが多く、このためポスティングをしているが負担が大きい。内容も「いちほら」と重複が多く、「えらいさん」の決まり文句的な挨拶、イベントの結果報告など文字ばかりで読む気にならない。印刷にかかる費用の無駄、資源の無駄。コミュニティ会議で町会未加入者への情報提供について質問しても自治会館に行ってもらい広報誌を受け取ってもらうとの回答、自治会未加入者に自治会館を利用しようという発想があるのだろうか。効率的な広報のあり方について検討したい。町会費の集金を郵貯払込を利用しているが、町会側からの負担が毎月1100円かかり、年間13200円かかる。町会としては早めの集金を目指し、4月・5月の手続きで集金できない場合、班長が戸別訪問して対応している。このため、6月以降の10ヶ月分の郵貯側の手数料11000円の負担が大きい。ゆうちょ銀行側の制度上の問題かもしれないが町会費を徴収するというのは全国共通なのではないか。郵貯自動払込利用申込書を見ても払込金の種別欄には「会費33」しかなく一般的な会費と扱いはおなじである。各町会でゆうちょ銀行に言っても埒があかない。市町村自治会連合等を通じて対応していただけないものだろうか。
男	60代	2年目	高齢化が進み、長期入院、施設入所、息子娘宅への同居が増加し、空き家が多くなっている。空き家の管理が行き届かなくなり、雑草・蚊・蜂など害虫が繁殖し迷惑する。自然災害で壊れても修理されずに放置され、ごみ不法投棄など防災・防犯面で非常に不安である。空き家対策の推進をお願いします。
男	60代	3年～5年目	町会費を各家庭から頂いているが、町会員全員が参加できる行事を行っていない。例えば、バーベキュー大会とか小旅行等を考えています。そういった行事に市として補助または助言を頂けるのか？
男	80代以上	6年～9年目	当町会は2つの地区に囲まれた26世帯の小さな町会です。子供たちはA地区の学校に入学していますが、B地区の学校からも行事連絡（入学式、運動会、卒業式、今年は周年記念等のお知らせや招待状）がきますので町会活動の際に無意義な問題になっています。町内の道路のガスと下水道のことですが、計画があった様子で、計測したり、私道のため個別に話をしていたので「近いうちに」と喜んでいたのですが、その後進んでいません。どのようになったのでしょうか？
男	50代	今年度より就任（1年目）	私の町会が高齢世帯が多いが、若く子供がいる世帯が多い町会であれば、子供会を中心に子供が楽しめる様な活動を主体にして、親子共に楽しめる活動であれば多少は興味を持っていただけたらと思います。かつて社宅の自治会にいた経験から子供会というのは良い繋ぎになると思います。ただ私の町会の様に高齢者が多いところでは又違う方法が必要なのかもしれませんが、現役世代の私としては働きながら高齢者世帯の面倒を見ることは負担ばかりが多きついで、そこは周囲のフォローが必要です。辰巳台地区町会に関しては、昔から町会がある世帯は高齢者が多く、社宅が無くなりその後戸建てが出来た所は比較的若い世代が多い様に思います。社宅の跡地は町会がない箇所になっています。不動産業者さんにこの辺り考えて頂いて、集会所の設置を後押しするなど、ただ家を建てるのではなく一つの地域コミュニティを育てる計画で土地開発を進めて欲しい。ゼロから町会を立ち上げるのは難しいので、そこは行政或いは土地開発に関わる不動産業者のフォローが必要でしょう。町会があるとこんなメリットがあるというリーフレットは分かりますが、町会参加しないとペナルティを科すぐらいの覚悟でないと町会は無くなっていくと思います。行政として町会の必要性を感じているなら、町会加入世帯が公民館、図書室等の公共施設の利用する際には割引サービス等を考えてもらっていいのではないのでしょうか？今後普及するであろうマイナカードを町会加入証として利用できれば、その辺りスムーズにいくような気もします。イチ押し制度は良い制度だと思いますので、もっと宣伝して欲しい。もっと分かりやすく利用しやすい様にして欲しい。（アンケート期限内に回答できず申し訳ございません）
男	40代	2年目	市役所の職員の皆さまは、ご協力頂いてると思います。個人的には、高齢化などで役員をやる人がいなく回っていたのがきっかけで、町会長をやるようになりました。必要性等は感じるものの、そもそも、どのような方が町会にいらっしゃるのかもわからず少しずつ、コミュニケーションを取り始めているところです。引き続き相談に乗っていただければ助かります。
男	70代	今年度より就任（1年目）	来る書類、提出書類が多く、内容をもっとわかりやすくしてほしい。未加入世帯に最低限の活動（ゴミ当番とか）をしてもらう方法を知りたい。
男	50代	今年度より就任（1年目）	町会の活動ではないが 市の迷子などの放送が聞こえにくい 何とか聞こえやすくしてほしいです
男	60代	今年度より就任（1年目）	高齢者・交通弱者が多い地域ですが、少しでも皆さんが元気で安心して暮らしていける町内会にしていけるよう努力したいと思います。私どもの並塚町内会のエリアでは市の広報無線の放送がほとんど聞こえません。災害時の非常連絡や市政への協力を求めるときでも、その役割を果たせていないものと危惧しています。長年、こうした状況が続いているように思えるのですが、速やかに改善いただけますようお願いいたします。
男	70代	今年度より就任（1年目）	県・市の決まりがあると思いますが、市民（町会）の生活に必要としていることは（例えば赤道の舗装など）融通を利かしてくれたらと思います。ほかにも決まり事によって要望が届かないことがあることが前町会長からも聞きます。
男	60代	2年目	出来れば行政側がもっと町会に入っていたきたい（広報活動含め）。市→各連合町会→各町会（日にちを決め協議をして年2回位（上期・下期））

12. 市・地区会・連合会の協力が欲しい（続き）

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	2年目	297号線の草刈りをしてほしい。市道の路肩の修理をしてほしい。
男	60代	2年目	草刈りは市でやってもらいたい。4回実施している。国府まつりはやめてほしい。踊る人がいない。
男	60代	3年～5年目	地域連携推進課を始め、不法投棄対策課、危機管理課など、自治会の問題に対して都度都度のご尽力などを頂き感謝しています。弊社としても自治会で可能な範囲での活動を行っているつもりでは有りますが、弊社では処理しかねる問題(例えば前述の非協力的地主の問題)等についても目を向けて頂き、少しでも是正方向に御尽力頂ければ幸甚です。
男	70代	今年度より就任（1年目）	私の町会では、子供がいないため、PTAの集金や資源回収を今年から町会でやっています。町会長とかがやることではないと思いますが。防災訓練、市と地区、同じ人が2回続けてやる意味があるのですか。回覧物（社協だより、コミュニティセンターだよりなど）個別に回覧してもほとんど役員のところに戻ってきます。見ている人がすくないのでは。予算が無駄ではないですか？私はそう思います。手間もかかります。
男	70代	2年目	年1回位、会長を含む3役クラスの研修を出来れば良いと思います。
男	70代	6年～9年目	会費、負担金の納入場所があちこち分散されており大変不便である。
男	70代	3年～5年目	○町会役員の積極的活動を望むとともに人口減対策。 ○私は要望事項のスピード化を望む。
男	50代	今年度より就任（1年目）	町会活動を活発にするために助言をお願いしたい。市と個人の間に町会があって、メリットがあるような事例を紹介してほしい。現在の町会加入リーフレットの追加。
男	70代	2年目	町会内の案件が 県、市、消防、警察、各種団体（福祉、青少年、防犯、教育、その他）等のどの部署に関係するのか不明。
男	30代	今年度より就任（1年目）	自治会長会議などの集合開催で都合がつかず欠席することもあるため、ホームページにアーカイブ動画を掲載いただけると広報啓発にもつながると思います。
男	60代	3年～5年目	自治会の本来の活動は親睦だと思う。自治会参加にメリットがないので加入しないとの意見が多い。行政はこれをどう捉えているのだろうか？行政は自治会に何を求めているのか？市の主要施設に行くにはちはら台は不便。千葉市に編入してもらえないか。
男	60代	今年度より就任（1年目）	町会の必要性（なくても不都合が生じるのか）／町会員高齢化による防災対応の不都合などの様に行政は対応しようとしているのか／（平均75歳以上となって、全員が見守られる対応になってきている。）見守る人員が少ない。
男	60代	今年度より就任（1年目）	1. 補助金申請等の書類関係の提出をメールで送れる様にしてほしい。2. 交付請求書に振込先を毎回記載して、通帳のコピーを付けているので年に一度の登録で済ましてほしい。
男	50代	3年～5年目	基本的に、町会員からの要望や質問を受け、市役所に確認する場合がありますが、たらいまわしになったり、自分の部署ではない、まだ今年に配属したばかりでわからないとむげに断ったりする人もいます。（中には丁寧に対応している職員の方もいますが）、基本的に依然と比べても、感情的になって怒ってきたり、人間性のない人が多くなったように思います。（思いやりのある人が少なくなったような気がします。）また、町会に入っているからといいますが、町会の役員をやったりする人は少ないです。定年退職された方もそうですが、ちょっと残念です。町会からの質問窓口の一本化や最後まで丁寧に追いかけてくださる部署も期待します。これは町会に限りませんが、よろしくお願いします。
男	60代	2年目	行政は町会に何を求めているのか？ 今の時代に照らし合わせて明確にしてほしい。地区にもよるが、町会不要との考えが大きくなってくる。
男	60代	今年度より就任（1年目）	下記4点の理由より町会の統合を市役所主導で推進いただきたい。（1）町会役員のなり手が少ない （2）公民館が老朽化し集会施設として不適合 （3）町会の数が多い （4）町会をまたぐ共有地の運用が難しい
男	60代	今年度より就任（1年目）	①1年目の新人町会長を集めて、研修を数回行うなど、行政からの投げかけがあるとありがたいと思います。（手引きの説明も含めて）

13. 町会・地区会・連合会の在り方を見直す

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	今年度より就任（1年目）	町会活動は、負担だけしかない。
男	70代	今年度より就任（1年目）	町会活動が負担です。町会加入は本来なら自由なのでは？ほぼ強制加入でとても負担です。PTAと同じで見直すべきです。このままではどんどん市原市の若い人たちの、人口が減ります。
男	40代	2年目	町会自体の意義が感じられないため、加入者は20%に満たない。残念に思う一方で、メリットもない事から積極的に勧誘は出来ない。むしろ、役員になれば負担を強いられるため、辞めたい方も多し。実際にも辞めていっている。魅力的な町会とは、人が入りたいと思う町会とはどのようなものか。成功例が見てみたい。現代社会、現役世代に響く町会の在り方はどのようなものか、不要なのか。加入者数で見れば圧倒的に不要と言われている気がする。また、町会のために自己犠牲(時間的)もあるので大変な事がある。皆町会運営に不慣れなので、大変さが有る。この先に入って良かったが有るのか。現代に合う形に変えていきたいと思っているが、何から始めれば良いか。
男	70代	6年～9年目	1. 町会事務量を軽減する方策が必要では。高齢者の会長就任が難しくなっている。 2.市民体育祭の人集めも困難になっており、負担が大きい。
男	50代	3年～5年目	時代に見合っていない制度と思う
男	60代	6年～9年目	町会長連合会や地区町会の恩恵を感じることがない。存在しているがための活動だと思う。任意団体なのだから脱退したい。行政のための組織だと思う。
男	40代	2年目	若者世代に町会加入のメリットがあるように思えない。若者が高齢者を支えなければいけない状況になっている。町会役員や連合町会の役員の若返りを進めるために市内各地区の若者を中心に交流会などを開催して欲しい。このままだと数年後に町会が不要なものとなるこの状況を危機に感じている若者が何人いるのか？1人でもそう感じている人材がいるなら紹介して欲しいです。
男	30代	2年目	実家に住んでおらず、行事の都度帰省している。交通費や拘束時間などの面により、活動が非常に困難である。任期は全うしたいが、持続性があるとは到底思えない。
男	70代	今年度より就任（1年目）	小町会の統合 町会会合が多すぎる
男	70代	3年～5年目	年功序列の組織は要らない。

14. その他

性別	年代	町会長在任期間	意見
男	60代	3年～5年目	特になし
男	40代	今年度より就任（1年目）	特になし。
男	70代	今年度より就任（1年目）	おつかれさまです。
男	60代	今年度より就任（1年目）	このアンケートが何かに反映されるのですか？ 決められたアンケートだから、決まったアンケートだからで言うアンケートでは意味が無いです。
男	60代	2年目	市原市の人口は27万人と思いますが、町会長や自治会長は何才の人が携わっていますか。定年迄働いて、さて第二の人生を過ごそうと思っていたら、行政の下請と思われる仕事が回って来るとは考えていなかったと思います。国の為、市の為に働いてきた人には労りの社会があってもいいのでは。定年後の未来は暗い。